

一般国道56号 ^{うわしま}宇和島道路
事業再評価

平成23年10月31日

国土交通省 四国地方整備局

一般国道56号 宇和島道路

【 目 次 】

1. 事業の概要	1
1. 1 事業の目的.....	1
1. 2 事業計画諸元.....	2
2. 事業の経緯	3
2. 1 主な事業の経緯.....	3
3. 事業の必要性等に関する視点	4
3. 1 事業を巡る社会情勢等の変化.....	4
3. 1. 1 事業を巡る社会情勢の変化.....	4
3. 1. 2 事業の効果や必要性.....	10
3. 1. 3 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化等.....	25
3. 2 事業の投資効果.....	26
3. 2. 1 事業の投資効果.....	26
3. 2. 2 前回再評価時(平成20年度)からの事業計画の変化.....	30
3. 3 事業の進捗状況.....	31
3. 3. 1 事業の進捗状況.....	31
4. 事業の進捗見込みの視点	32
5. 事業見直し(コスト縮減)や代替案立案等の可能性の視点	33
5. 1 事業見直し(コスト縮減)	33
5. 2 代替案立案等の可能性.....	33
6. 地方公共団体等からの要望	34
7. 対応方針(原案)	35

1. 事業の概要

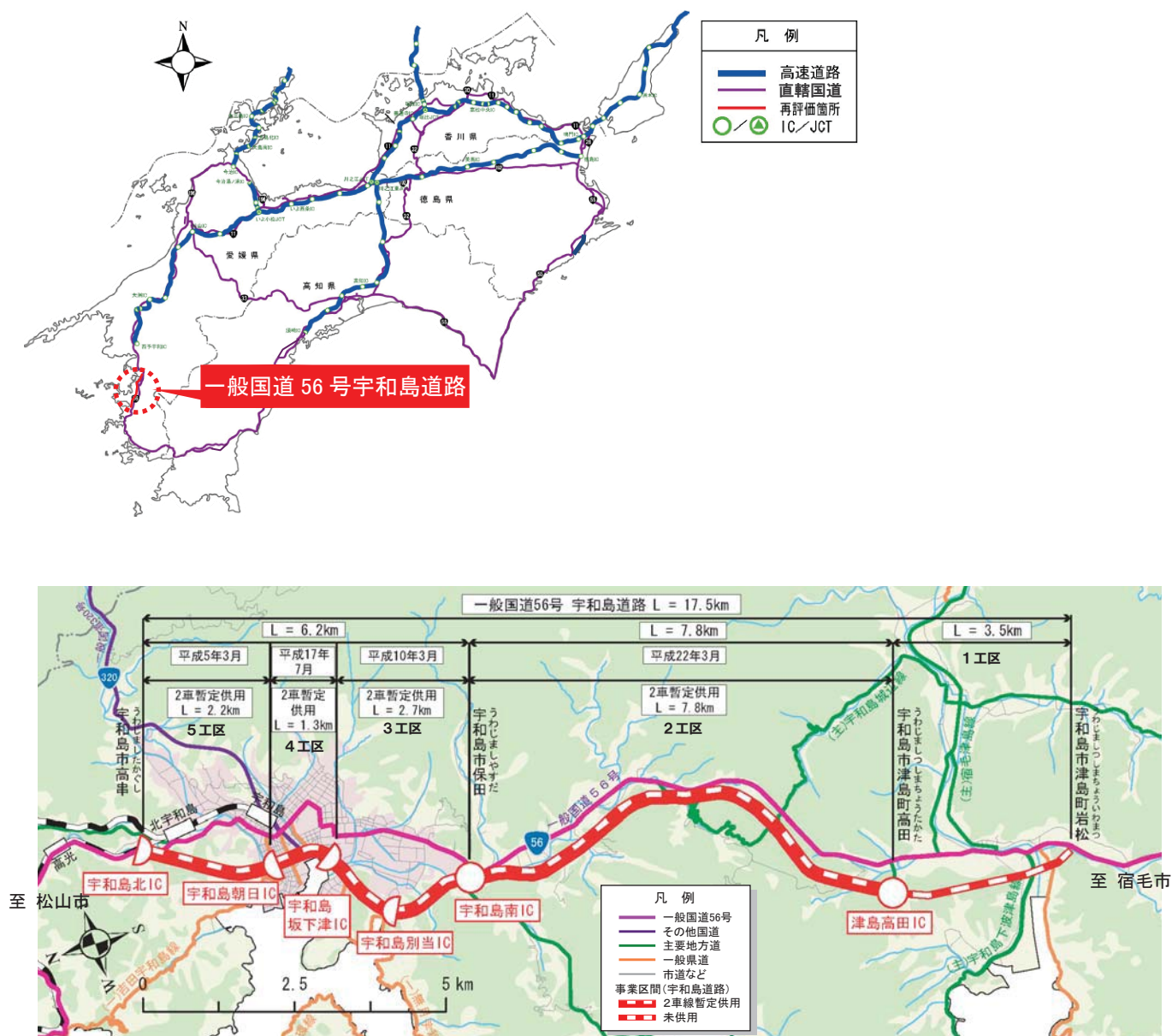
1. 1 事業の目的

国道56号は、高知市を起点に、四万十市、宿毛市、宇和島市、大洲市を經由して松山市に至る延長約320kmの主要幹線道路である。南予地域を南北に縦貫するこの路線は、松山方面と南予、高知西南地域を結ぶ四国西南部の動脈で、県民の生活基盤として重要な役割を果たしている。

しかしながら、宇和島市街部では交通混雑・渋滞が慢性化しており、周辺市町村を含めた地域全体の生活や産業にまで、深刻な影響を及ぼしてきている。

宇和島道路は、市街地に集中していた交通量を分散させて交通混雑・渋滞を緩和し、安全で円滑な交通確保を図ることを目的とした事業である。

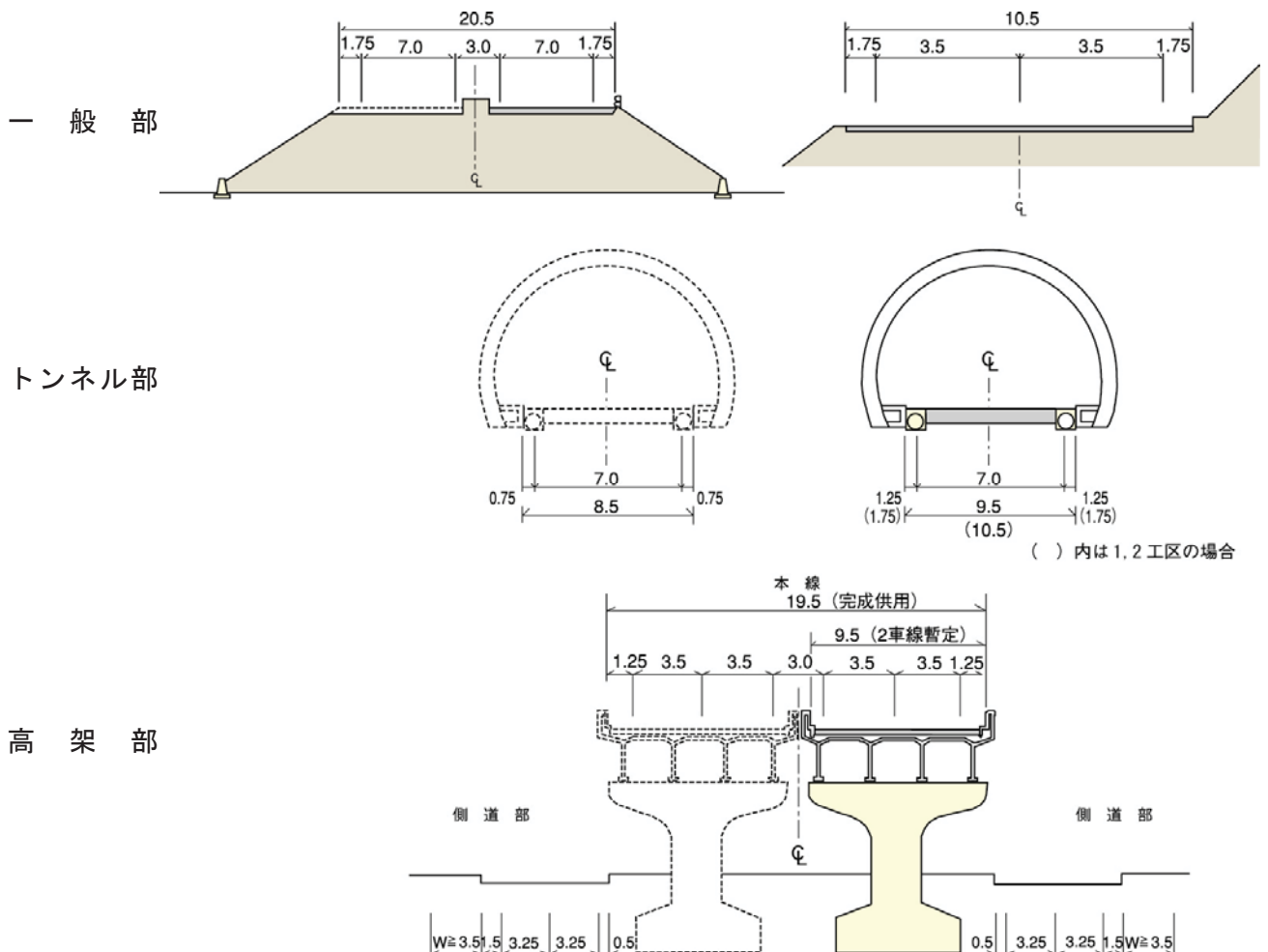
また、四国、中国、近畿経済圏との広域連携を目指した「四国8の字ネットワーク」は、高規格幹線道路等のネットワーク効果を四国内の隅々まで波及させるとともに、三次医療施設への搬送や、南海地震等災害時の緊急輸送道路として、大きな役割を担う必要不可欠な社会基盤であり、本事業はその高速交通ネットワーク形成の一部を担う事業として位置付けられている。



1. 2 事業計画諸元

項 目	内 容	
事 業 名	一般国道56号 宇和島道路	
計画区間	愛媛県宇和島市津島町岩松～愛媛県宇和島市高串	
計画延長	L = 17.5 km	
構造規格	第1種 第3級	
設計速度	80 km/h	
車 線 数	4車線（暫定2車線）：宇和島市津島町高田～宇和島市高串（L=14.0km） 2車線：宇和島市津島町岩松～宇和島市津島町高田（L=3.5km）	
標準幅員	< 4車線 > 一般部：W = 20.5 m 高架部：W = 19.5 m	< 2車線 > 一般部：W = 10.5 m 高架部：W = 9.5 m

【標準断面図】



2. 事業の経緯

2. 1 主な事業の経緯

年 次	内 容
昭和59年度	都市計画決定（宇和島市保田～宇和島市高串 L=6.2km）
昭和59年度	事業化（宇和島市保田～宇和島市高串 L=6.2km）
昭和60年度	用地買収着手
昭和62年度	工事着手
平成 5年度	宇和島北 IC～宇和島朝日 IC 暫定 2 車線供用
平成 9年度	事業区間延伸（宇和島市津島町高田～宇和島市保田 L=7.8km）
平成 9年度	宇和島坂下津 IC～宇和島南 IC 暫定 2 車線供用
平成11年度	都市計画決定（宇和島市津島町高田～宇和島市保田 L=7.8km）
平成12年度	宇和島朝日 IC～宇和島坂下津 IC 側道部暫定 2 車線供用
平成17年度	事業区間延伸（宇和島市津島町若松～宇和島市津島町高田 L=3.5km）
平成17年度	宇和島朝日 IC～宇和島坂下津 IC 高架部暫定 2 車線供用
平成21年度	宇和島南 IC～津島高田 IC 暫定 2 車線供用

【事業概要図】



3. 事業の必要性等に関する視点

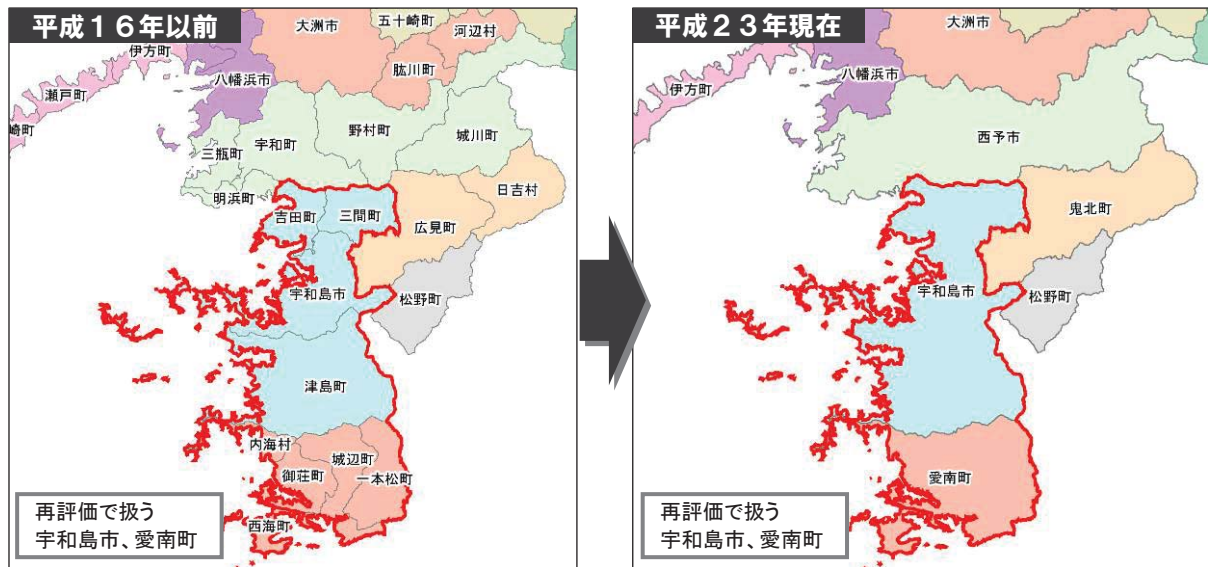
3. 1 事業を巡る社会情勢等の変化

3. 1. 1 事業を巡る社会情勢の変化

1) 市町村合併の状況

愛媛県では、平成 16 年以降、市町村合併が進展しており、宇和島道路のある宇和島市は、平成 17 年 8 月に旧宇和島市・北宇和郡吉田町・北宇和郡三間町・北宇和郡津島町の対等合併により誕生した。この合併により、宇和島市は愛媛県下第 4 位の面積規模となり、通勤・通学、買物、福祉や医療サービスの享受、さらには文化活動、スポーツ活動など、日常生活における活動範囲は広域化しており、行政の広域化を支援するための社会資本整備は、今後さらに重要性を増すと考えられる。

●愛媛県における市町村合併の変遷

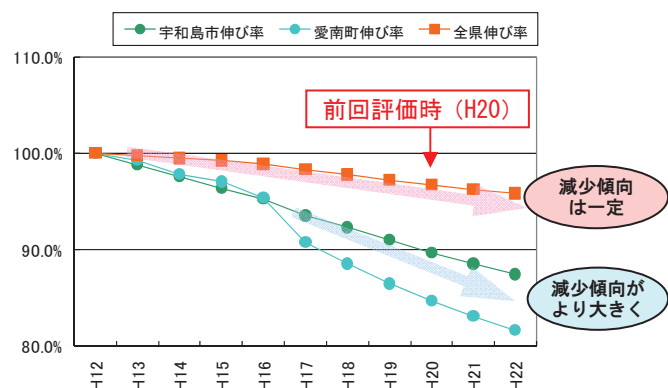
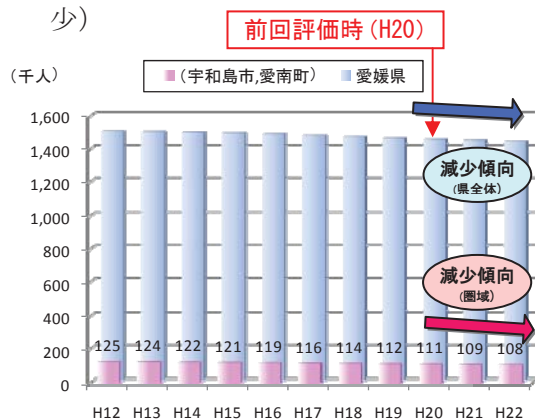


生活経済圏	都市圏	現在の市町村 (H23.9月現在)	前回評価時の市町村 (H15以前)	備 考
松山圏	松山都市圏	松山市	松山市, 北条市, 中島町	H17. 1. 1合併
		伊予市	伊予市, 中山町, 双海町	H17. 4. 1合併
		東温市	重信町, 川内町	H16. 9. 21合併
		松前町	松前町	
		砥部町	砥部町, 広田村	H17. 1. 1合併
		久万高原町	久万町, 面河村, 美川村, 柳谷村	H16. 8. 1合併
今治圏	今治都市圏	今治市	今治市, 朝倉村, 玉川町, 波方町, 大西町, 菊間町, 吉海町, 宮窪町, 伯方町, 上浦町, 大三島町, 関前村	H17. 1. 16合併
		上島町	魚島村, 弓削町, 生名村, 岩城村	H16. 10. 1合併
		宇和島市	宇和島市, 吉田町, 三間町, 津島町	H17. 8. 1合併
宇和島圏		松野町	松野町	
		鬼北町	広見町, 日吉村	H17. 1. 1合併
		愛南町	内海村, 御荘町, 城辺町, 一本松町, 西海町	H16. 10. 1合併
八幡浜・大洲圏		八幡浜市	八幡浜市, 保内町	H17. 3. 28合併
		大洲市	大洲市, 長浜町, 肱川町, 河辺村	H17. 1. 11合併
		西予市	三瓶町, 明浜町, 宇和町, 野村町, 城川町	H16. 4. 1合併
		内子町	内子町, 五十崎町, 小田町	H17. 1. 1合併
		伊方町	伊方町, 瀬戸町, 三崎町	H17. 4. 1合併
新居浜・西条圏	新居浜都市圏 (旧新居浜市、旧西条市、旧小松町)	新居浜市	新居浜市, 別子山村	H15. 4. 1合併
		西条市	西条市, 東予市, 小松町, 丹原町	H16. 11. 1合併
宇摩圏		四国中央市	川之江市, 伊予三島市, 新宮村, 土居町	H16. 4. 1合併

資料) 愛媛県市町村合併 HP

2) 人口の動向

減少傾向にある愛媛県全体の人口と同様に、対象路線が位置する宇和島市、愛南町の人口は、**平成12年以降、大きく減少傾向を示し、特に愛南町の平成17年以降から減少傾向が大きくなっている**。(前回評価時(H20)と比べると宇和島市、愛南町の合計で約3,000人の減少)



●宇和島市、愛南町と県全体の人口の推移

●宇和島市、愛南町の人口の伸び (H12を100とした場合)

●人口の推移 (H12~H22)

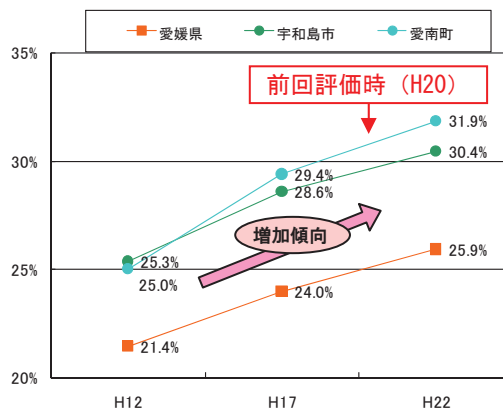
(単位: 人)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
愛媛県	1,493,092	1,489,732	1,485,557	1,481,569	1,475,959	1,467,815	1,459,988	1,451,973	1,444,288	1,437,549	1,430,832
宇和島市+愛南町	124,972	123,651	122,049	120,662	119,136	116,080	114,247	112,440	110,627	109,054	107,556
宇和島市	95,641	94,526	93,346	92,204	91,144	89,444	88,281	87,078	85,779	84,681	83,612
愛南町	29,331	29,125	28,703	28,458	27,992	26,636	25,966	25,362	24,848	24,373	23,944

資料) [H12 及び H17] 国勢調査
[その他] 愛媛県推計人口 (えひめの統計)

3) 高齢化率の変化

平成12年以降、高齢化率は上昇しており、平成22年には、県全体の25.9%に対して**宇和島市、愛南町では30%を超える増加傾向**を示しており、高齢化が進んでいる。



●高齢化率の推移

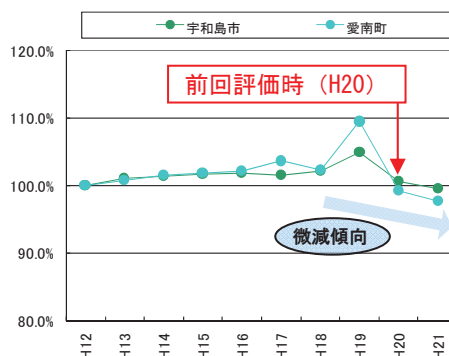
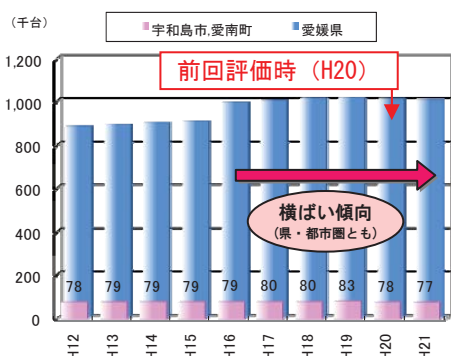
●高齢者数の推移 (H12~H22)

		H12		H17		H22	
		人	構成比	人	構成比	人	構成比
愛媛県	65歳以上	320,078	21.4%	351,990	24.0%	379,459	25.9%
	計	1,493,092		1,467,815		1,464,595	
宇和島市	65歳以上	24,240	25.3%	25,576	28.6%	26,544	30.4%
	計	95,641		89,444		87,184	
愛南町	65歳以上	7,337	25.0%	7,829	29.4%	8,144	31.9%
	計	29,331		26,636		25,566	

資料) [H12 及び H17] 国勢調査
[H22] 愛媛県長寿介護課調べ

4) 自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、愛媛県、宇和島市、愛南町ともに概ね横ばいであり、近年では、前回評価時（H20）と比べ平成21年度には宇和島市、愛南町の合計で若干の減少傾向（約900台）がみられる。



●宇和島市、愛南町と県全体の
自動車保有台数の推移

●宇和島市、愛南町の自動車保有台数の伸び
(H12を100とした場合)

●自動車保有台数の推移 (H12～H21)

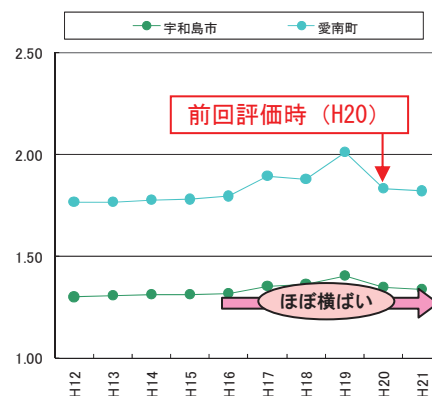
(単位：台)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
宇和島市＋愛南町	77,965	78,718	79,076	79,319	79,478	79,600	79,686	82,703	78,218	77,284
宇和島市	59,268	59,865	60,086	60,264	60,368	60,221	60,561	62,230	59,653	59,007
愛南町	18,697	18,853	18,990	19,055	19,110	19,379	19,125	20,473	18,565	18,277
県計	875,102	886,464	895,750	903,396	986,955	995,852	1,005,108	1,007,889	1,003,272	999,534

資料）愛媛県統計BOX（四国運輸局「自動車数の推移」）

5) 世帯あたりの自動車保有台数の推移

世帯当たり自動車保有台数は、宇和島市、愛南町とも**ほぼ横ばい**で推移しており、平成21年には、それぞれ1.34台／世帯、1.82台／世帯と愛南町では1世帯に2台程度の保有状況となっている。



●世帯当たり保有台数の推移

●世帯当たり保有台数の推移 (H12～H21)

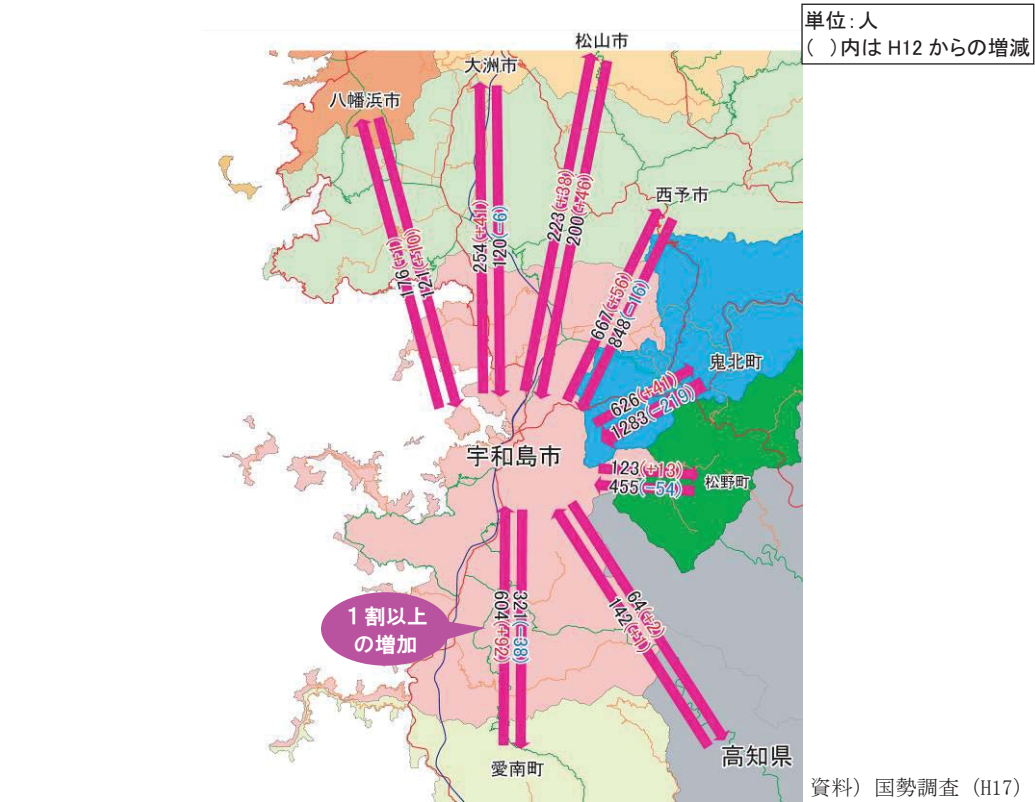
		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
自動車保有台数(台)	宇和島市＋愛南町	77,965	78,718	79,076	79,319	79,478	79,600	79,686	82,703	78,218	77,284
	宇和島市	59,268	59,865	60,086	60,264	60,368	60,221	60,561	62,230	59,653	59,007
	愛南町	18,697	18,853	18,990	19,055	19,110	19,379	19,125	20,473	18,565	18,277
	県計	875,102	886,464	895,750	903,396	986,955	995,852	1,005,108	1,007,889	1,003,272	999,534
世帯数(世帯)	宇和島市＋愛南町	56,159	56,380	56,465	56,544	56,490	54,698	54,587	54,471	54,332	54,141
	宇和島市	45,567	45,717	45,770	45,840	45,838	44,460	44,402	44,294	44,200	44,098
	愛南町	10,592	10,663	10,695	10,704	10,652	10,238	10,185	10,177	10,132	10,043
	県計	566,146	571,523	576,956	582,038	586,361	582,803	587,504	591,300	595,537	598,911
世帯当たり保有台数(台／世帯)	宇和島市＋愛南町	1.39	1.40	1.40	1.40	1.41	1.46	1.46	1.52	1.44	1.43
	宇和島市	1.30	1.31	1.31	1.31	1.32	1.35	1.36	1.40	1.35	1.34
	愛南町	1.77	1.77	1.78	1.78	1.79	1.89	1.88	2.01	1.83	1.82
	県計	1.55	1.55	1.55	1.55	1.68	1.71	1.71	1.70	1.68	1.67

資料）愛媛県統計BOX（四国運輸局「自動車数の推移」）
愛媛県推計人口及び人口動態

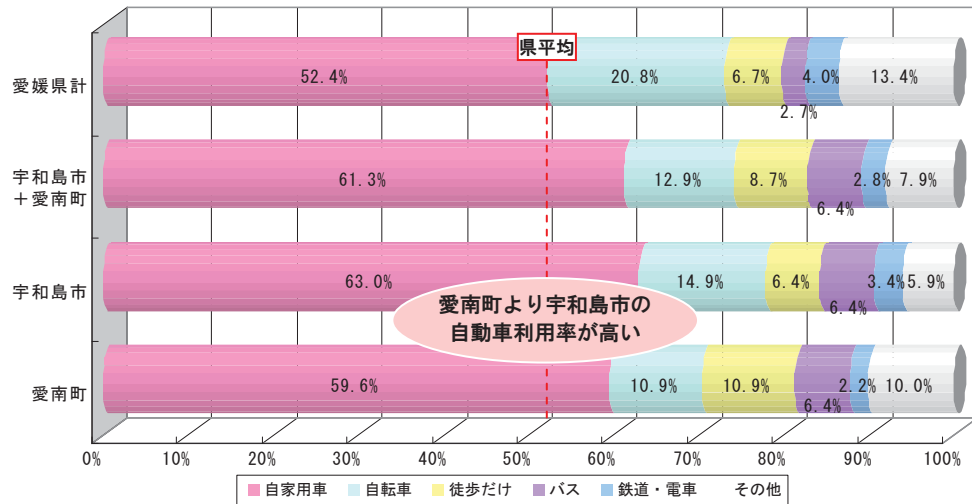
6) 地域間流動状況の変化

通勤通学流動をみると、**宇和島市は鬼北町・西予市・愛南町との結びつきが多い。**平成12年と比べて平成17年では、愛南町からの流入が1割以上増加している。

宇和島市・愛南町における通勤通学時の利用交通手段のうち**6割以上が自家用車であり、県平均の約1.2倍**となっている。



●宇和島圏の通勤通学流動 (市内流動除く: H17)



	自家用車	自転車	徒歩だけ	バス	鉄道・電車	その他
愛媛県計	52.4%	20.8%	6.7%	4.0%	13.4%	2.7%
宇和島市 + 愛南町	61.3%	12.9%	8.7%	2.8%	7.9%	6.4%
宇和島市	63.0%	14.9%	6.4%	3.4%	5.9%	6.4%
愛南町	59.6%	10.9%	10.9%	2.2%	10.0%	6.4%

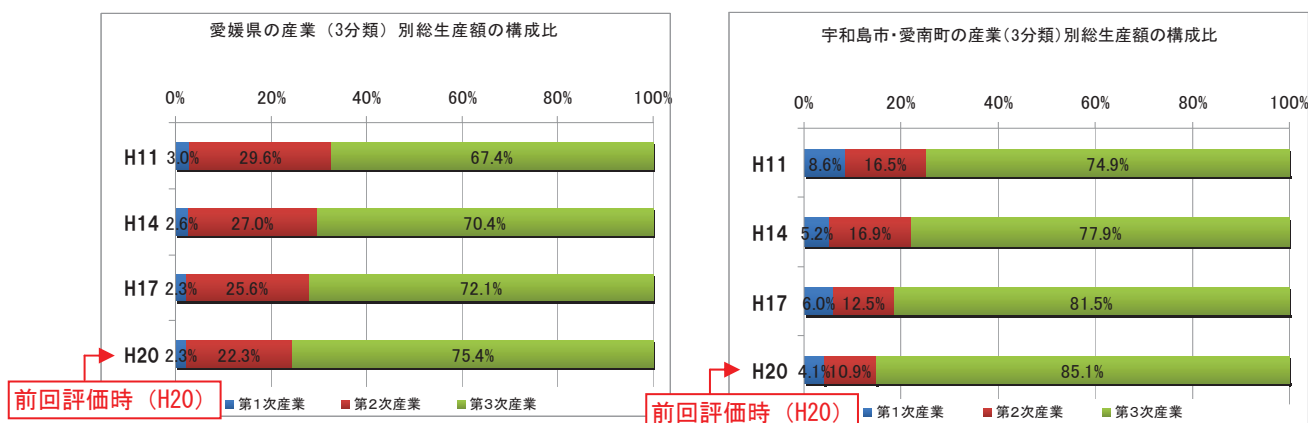
資料) 国勢調査 (H12)

●通勤・通学時の利用交通手段 (H12)

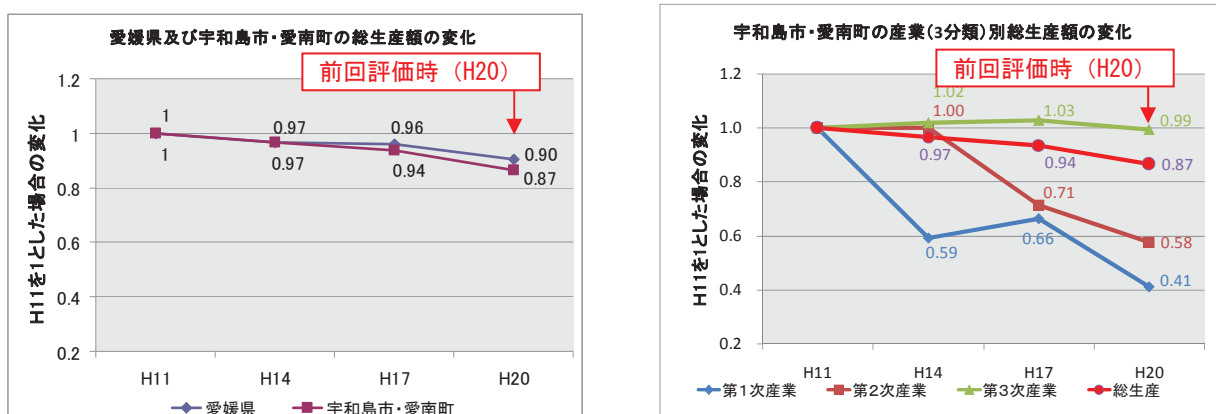
7) 産業の動向

宇和島市と愛南町の合計、及び愛媛県全体の総生産における産業（3 分類）別の構成比を見ると、県全体では第1次産業の比率が2～3％であるが、**宇和島市・愛南町では第1次産業の比率が約4～8％と比較的高い割合**を占めている。

また、総生産の変化（H11を1とした場合）を見ると、**愛媛県全体も宇和島市・愛南町の合計とも微減傾向**といえる。宇和島市、愛南町の総生産の変化を産業（3 分類）別に見ると、総生産では微減傾向であるが、第3次産業は横ばいであるのに対し、第2次産業の落ち込みが大きく、**第1次産業は平成14年から平成17年にかけて回復を見せたが再び減少に転じている**。



●愛媛県及び宇和島市・愛南町の総生産額の構成比（H11～H20）



●愛媛県及び宇和島市・愛南町の総生産額の伸び（H11～H20）
（H11を1.00とした場合）

●愛媛県及び宇和島市・愛南町の総生産額の推移（H11～H20）

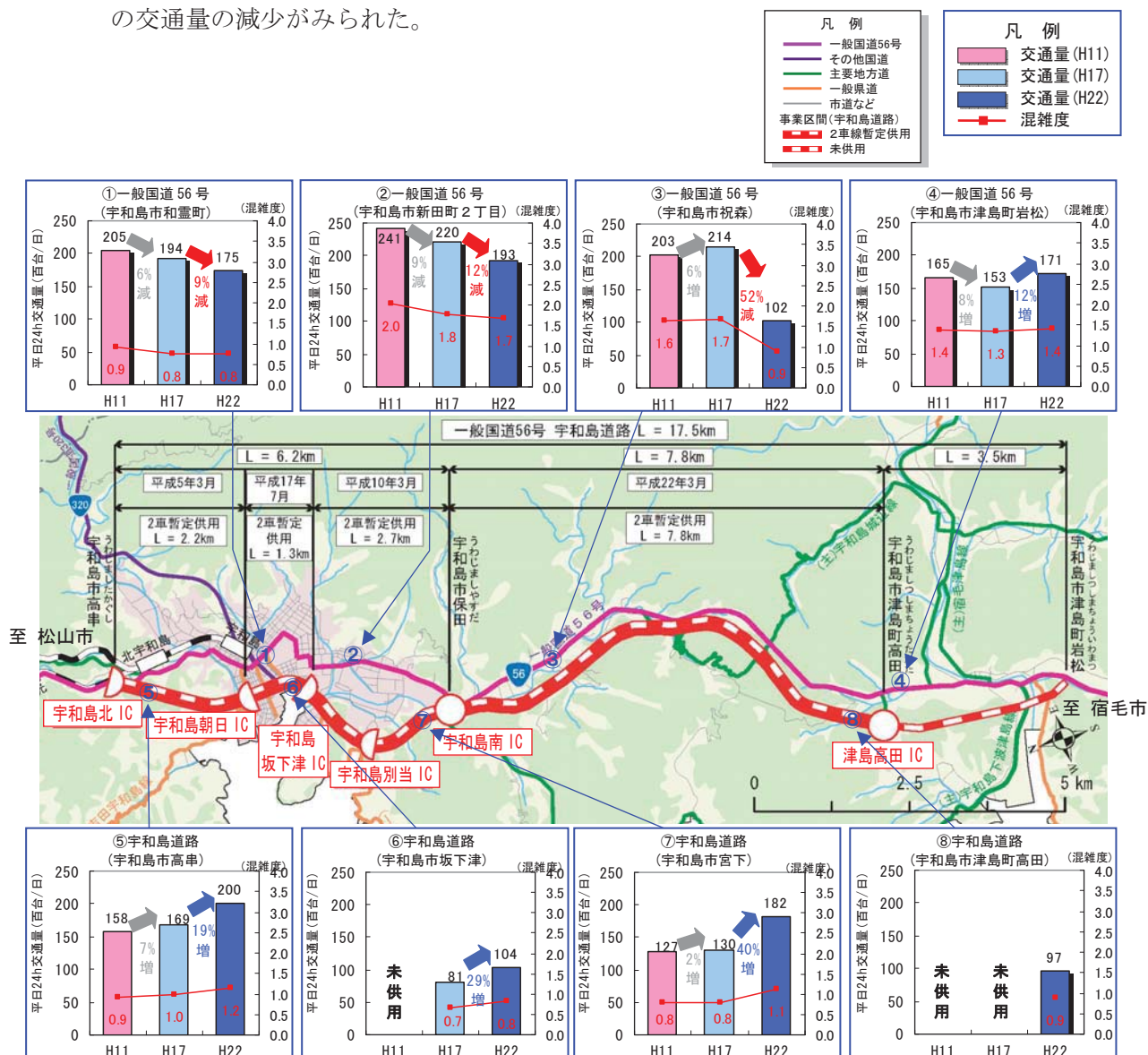
愛媛県 (単位:百万円)					宇和島市・愛南町 (単位:百万円)				
産業分類	H11	H14	H17	H20	産業分類	H11	H14	H17	H20
第1次産業	161,084	135,505	120,286	111,804	第1次産業	32,293	19,172	21,412	13,333
第2次産業	1,588,449	1,416,632	1,322,345	1,084,517	第2次産業	61,939	61,899	44,209	35,691
第3次産業	3,620,303	3,695,174	3,732,264	3,674,042	第3次産業	280,815	285,740	288,440	278,965
小計	5,369,836	5,247,311	5,174,896	4,870,363	小計	375,048	366,809	354,061	327,988
(控除) 帰属利子	180,644	228,705	214,218	201,367	(控除) 帰属利子	12,608	16,523	15,932	15,458
総生産	5,180,399	5,012,192	4,968,147	4,680,163	総生産	361,826	349,840	338,641	313,282

資料) 愛媛県市町民所得統計

※) 帰属利子：金融業の受取利息と支払利息の差額。利息は、財貨・サービスの取引によって生じるものではなく、総生産に計上されるべきものでないため控除する。

8) 交通の変化

宇和島道路が平成22年3月に『宇和島南IC～津島高田IC』間が供用されたことで、周辺の交通流動に大きな変化がみられた。宇和島道路と並行する国道56号の宇和島市祝森では平成17年に21,422（台／日）通行していた交通が、10,244（台／日）に52%減少したのに対し、宇和島市宮下(宇和島道路)では、平成17年では12,960台／日通行していた交通が18,162台／日に40%増加と、宇和島道路への交通転換と、それに伴う現国道56号の交通量の減少がみられた。



●宇和島道路周辺部における交通量の変化

地点	路線名	観測地点	平日24h交通量			地点	路線名	観測地点	平日24h交通量		
			H11	H17	H22				H11	H17	H22
①	一般国道56号	宇和島市和霊町	20,518	19,355	17,517	⑤	宇和島道路	宇和島市高串	15,756	16,869	20,048
②	一般国道56号	宇和島市新田町2丁目	24,148	22,047	19,338	⑥	宇和島道路	宇和島市坂下津	未供用	8,078	10,434
③	一般国道56号	宇和島市祝森	20,285	21,422	10,244	⑦	宇和島道路	宇和島市宮下	12,711	12,960	18,162
④	一般国道56号	宇和島市津島町岩松	16,520	15,250	17,113	⑧	宇和島道路	宇和島市津島町高田	未供用	未供用	9,721

資料) H11, H17, H22 道路交通センサス

混雑度の目安

1.00未満	日中を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる状態
1.00～1.25	日中のうち、ピーク時間帯に道路が混雑する可能性がある状態
1.25～1.75	ピーク時間帯はもとより、日中の連続的な混雑への過渡状態
1.75以上	慢性的な混雑状態

参考)「道路の交通容量」(社)日本道路協会

3. 1. 2 事業の効果や必要性

1) 客観的評価指標による事業の効果や必要性

<客観的評価指標(1/2)>

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間時間損失及び削減率	現 況:約 831 万人・時間/年 削減時間:約 202 万人・時間/年 時間削減率:約 24%
		■ 現道等における混雑時旅行速度が 20km/h 未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道 56 号(宇和島市津島町) 15.4 km/h→40.0km/h
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が 10,000 台時/日以上の上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	-
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	路線バスや松山市・大阪方面への高速バスの運行時間短縮、定時性の向上による利便性の向上(宇和島バス)
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	愛南町役場～JR 宇和島駅 1 時間 20 分→49 分(約 31 分短縮)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	愛南町役場～松山空港 3 時間 20 分→2 時間 40 分 (約 40 分短縮)
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	愛南町役場～宇和島港 1 時間 20 分→47 分 (約 33 分短縮)
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	深浦漁港～松山市 3 時間 18 分→2 時間 38 分(約 40 分短縮)
		□ 現道等における、総重量 25t の車両もしくは ISO 規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	-
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	-
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	-
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	-
		□ 中心市街地内で行う事業である	-
		□ 幹線都市計画道路網密度が 1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	-
		□ DID 区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	-
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300 戸以上又は 16ha 以上、大都市においては 100 戸以上又は 5ha 以上)への連絡道路となる	-
	国土・地域ネットワークの構築	■ 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	四国横断自動車道と並行する自専道
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	-
		■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合)	四国8の字ネットワークの一部を構成
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	八幡浜大洲地方生活圏～宇和島地方生活圏～幡多地方生活圏の中心都市間を連絡
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	-
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	-
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	愛南町役場～宇和島市役所 1 時間 20 分→47 分(約 33 分短縮)

<客観的評価指標(2/2)>

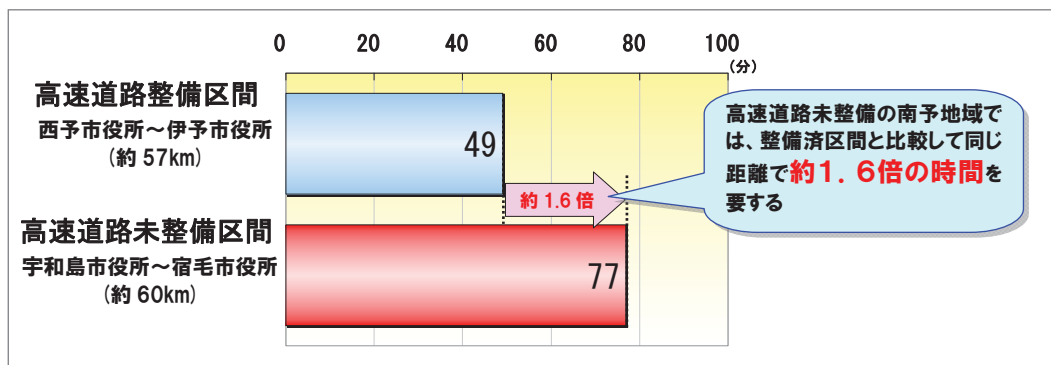
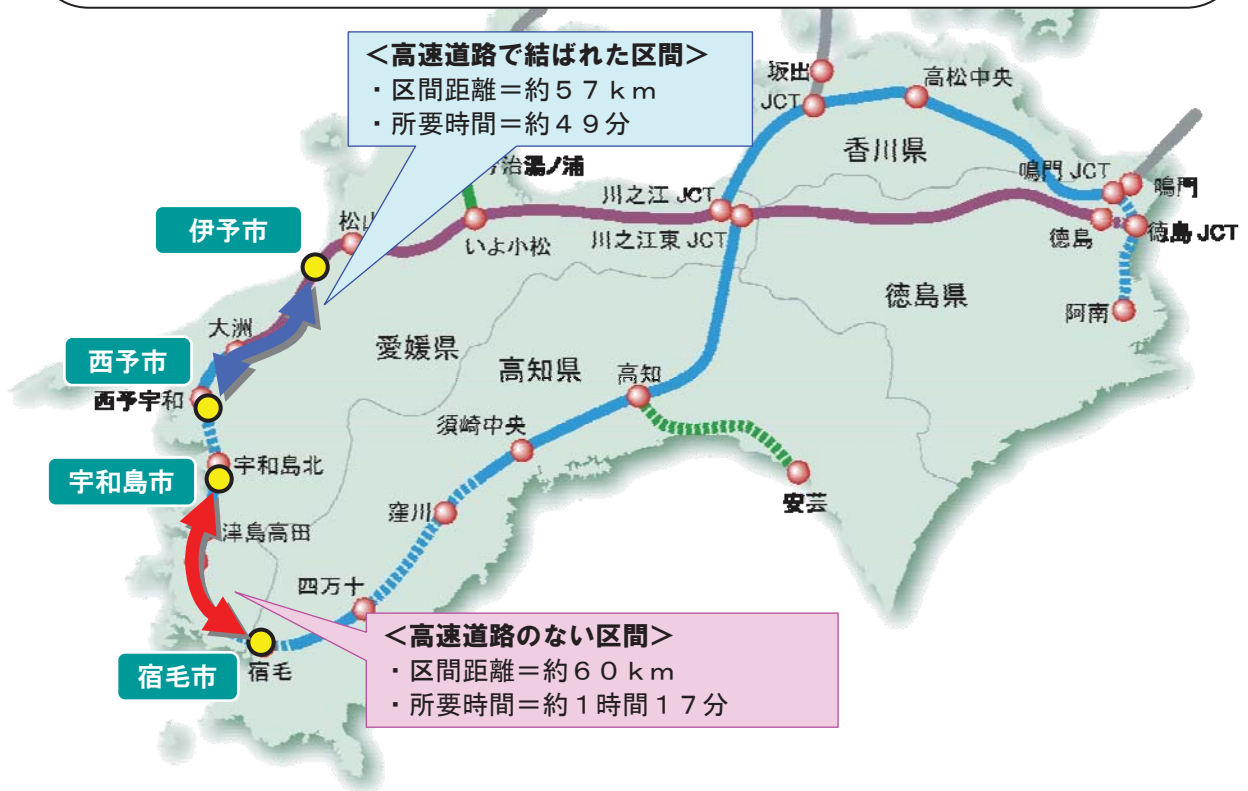
1. 活力	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	-
		☒ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	愛媛国体(H29年開催) 宇和島港国内物流ターミナル整備(H25年度完成予定)
		☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	松山市～須ノ川公園 2時間55分→2時間15分(約40分短縮)
		☐ 特別立法に基づく事業である	-
		☒ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	宇和島市交流拠点「道の駅 みなとオアシスうわじま きさいや広場」に直結
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	-
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	-
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	-
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	-
		☐ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	-
	安全で安心できる暮らしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	愛南町役場～市立宇和島病院 1時間16分→46分(約30分短縮)
	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	-
3. 安全	災害への備え	☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	-
		☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	-
		☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	愛媛県地域防災計画において 第一次緊急輸送路に指定
		☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道56号通行止め時の代替路線
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A路線としての位置づけがある場合)	-
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	-
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	-
4. 環境	地球環境の保全	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量: 6千t-CO ₂ /年 CO2排出削減率: 2%
	生活環境の改善・保全	☒ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2排出削減量: 69t-NO _x /年 NO2排出削減率: 67%
		☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出削減量: 6.5t-SPM/年 SPM排出削減率: 67%
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	-
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	-
	他のプロジェクトとの関係	☒ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	四国横断自動車道・宇和島北～西予宇和
5. その他	その他	☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		☒ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	走行環境の改善による事故減少が期待

2) 事業の主な効果と必要性

■新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成

宇和島道路により「四国8の字ネットワーク」の形成に寄与する

- ・宇和島道路は、四国の高規格幹線道路ネットワークである「四国8の字ネットワーク」を構成する道路として位置づけられている。
- ・宇和島道路の整備により、高規格幹線道路のミッシングリンクが部分解消され、南予地域と県都松山市との連携・交流の強化が図られるとともに、高知県西南地域の拠点都市間（四万十市や宿毛市）を高規格幹線道路で連絡する「四国8の字ネットワーク」の一部が構築される。

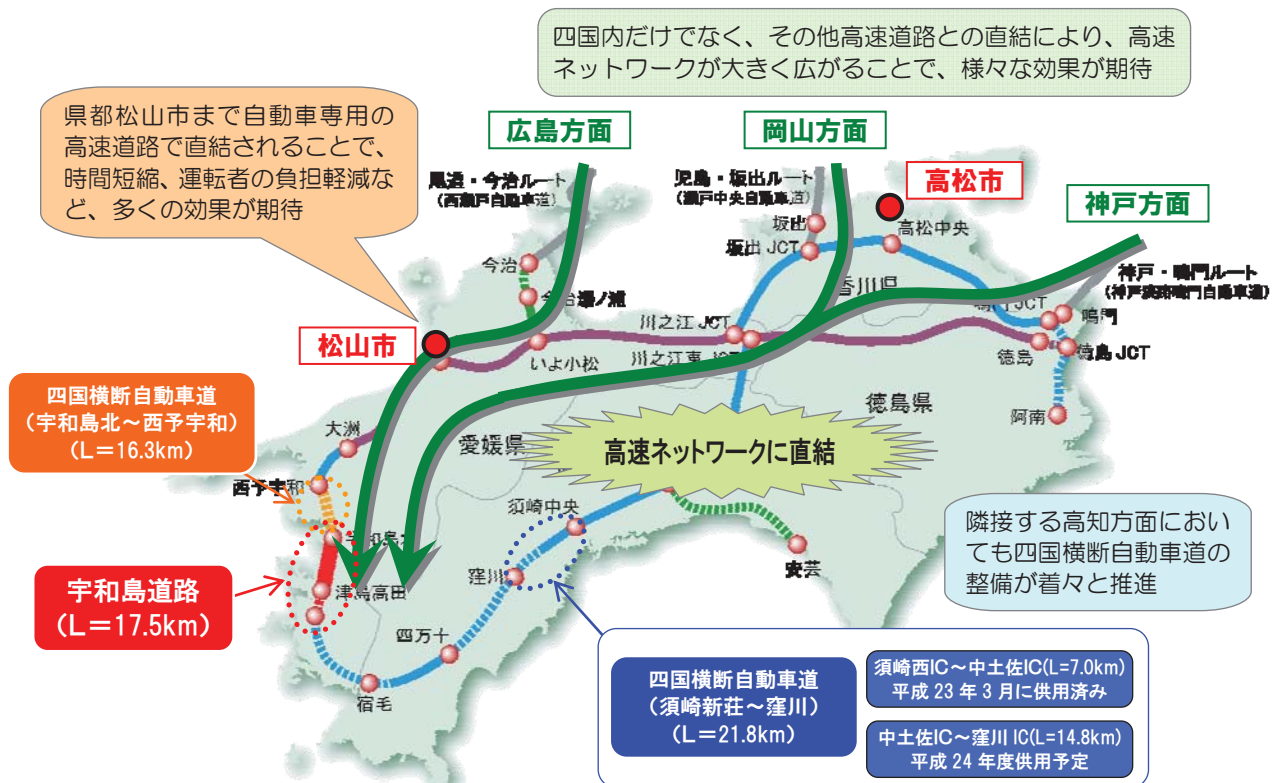


※H17 センサス旅行速度より算出
(宇和島道路 H18 以降供用区間は 70km/h)

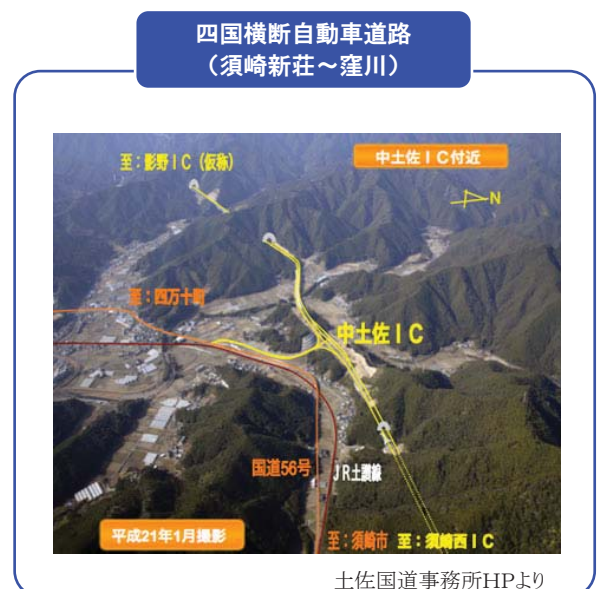
■隣接する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり

隣接する四国横断自動車道（宇和島北 IC～西予宇和 IC）の開通で
高速ネットワークのミッシングリンク解消が前進

- ・宇和島道路は、平成 23 年度供用予定の四国横断自動車道（宇和島北 IC～西予宇和 IC）と直結し、『四国 8 の字ネットワーク』（全延長約 810km、H22 年度末：515km）の一部を形成。
- ・宇和島道路の整備により、四国西南地域と様々な地域が高速道路で直結され、人や物、文化など、幅広い交流の促進を支援する役割が期待される。



●整備の進む四国 8 の字ネットワーク

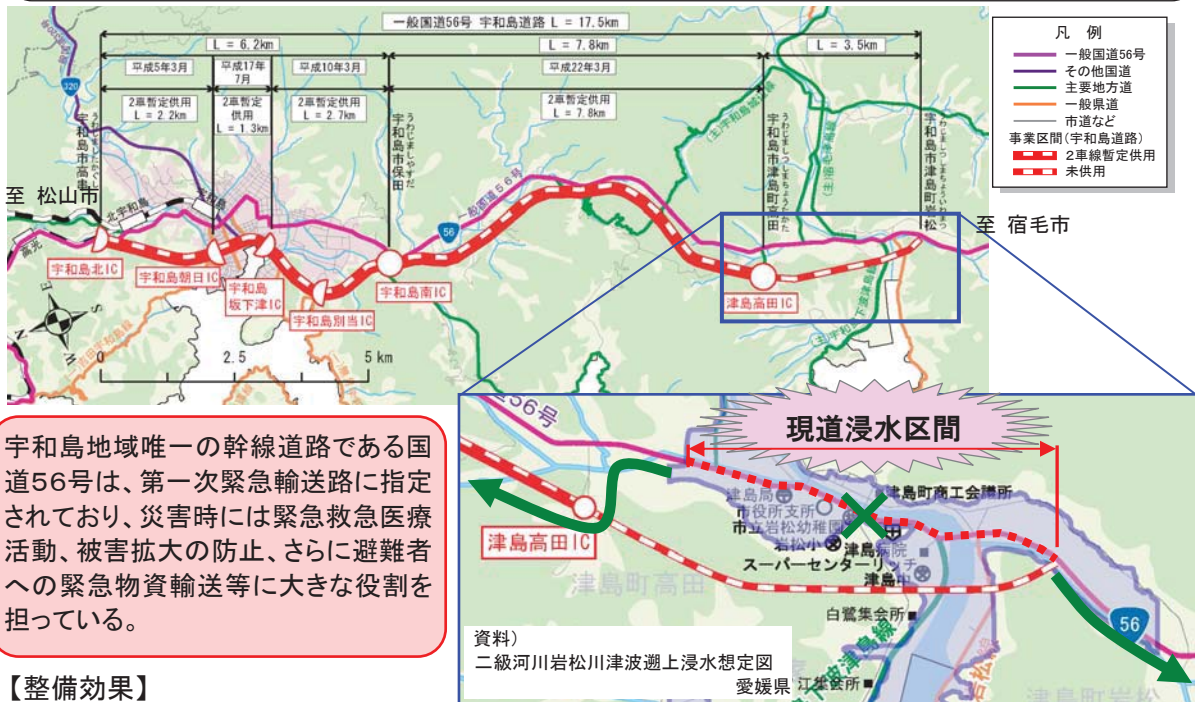


- 緊急輸送道路ネットワークの位置づけがある
- 緊急輸送路が通行止めになった場合の代替路線を形成する

緊急輸送路である国道 56 号の代替路線として機能することが期待される

【現状・課題】

- ・岩松地区を通過する国道 56 号は、津波発生時の浸水エリアが存在しており、現状のままでは周辺地域の孤立だけでなく、災害時の避難や救援物資の輸送に支障がある。
- ・四国西南地域は、南海・東南海地震等の大規模地震の際に震度、津波が大きいと予測されており、災害に備えた道路整備の必要性が高い。



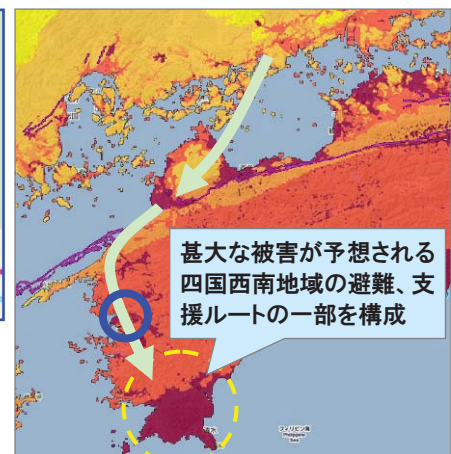
【整備効果】

- ・宇和島道路の整備により、現国道 56 号津波浸水区間での道路利用者人命確保、盛土部による津波被害軽減、津波による孤立地域解消等が期待でき、災害に強い道路網が形成される。



緊急時の輸送ルートが確保

- ・現国道 56 号が津波により寸断された場合でも、宇和島道路を利用することで、確実な避難、救援物資の輸送が可能となる



※) 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

0 0.1 3 6 26 100 (%)

●地震動予測地図 (2010 年版)

資料) NIED 防災科学研究所

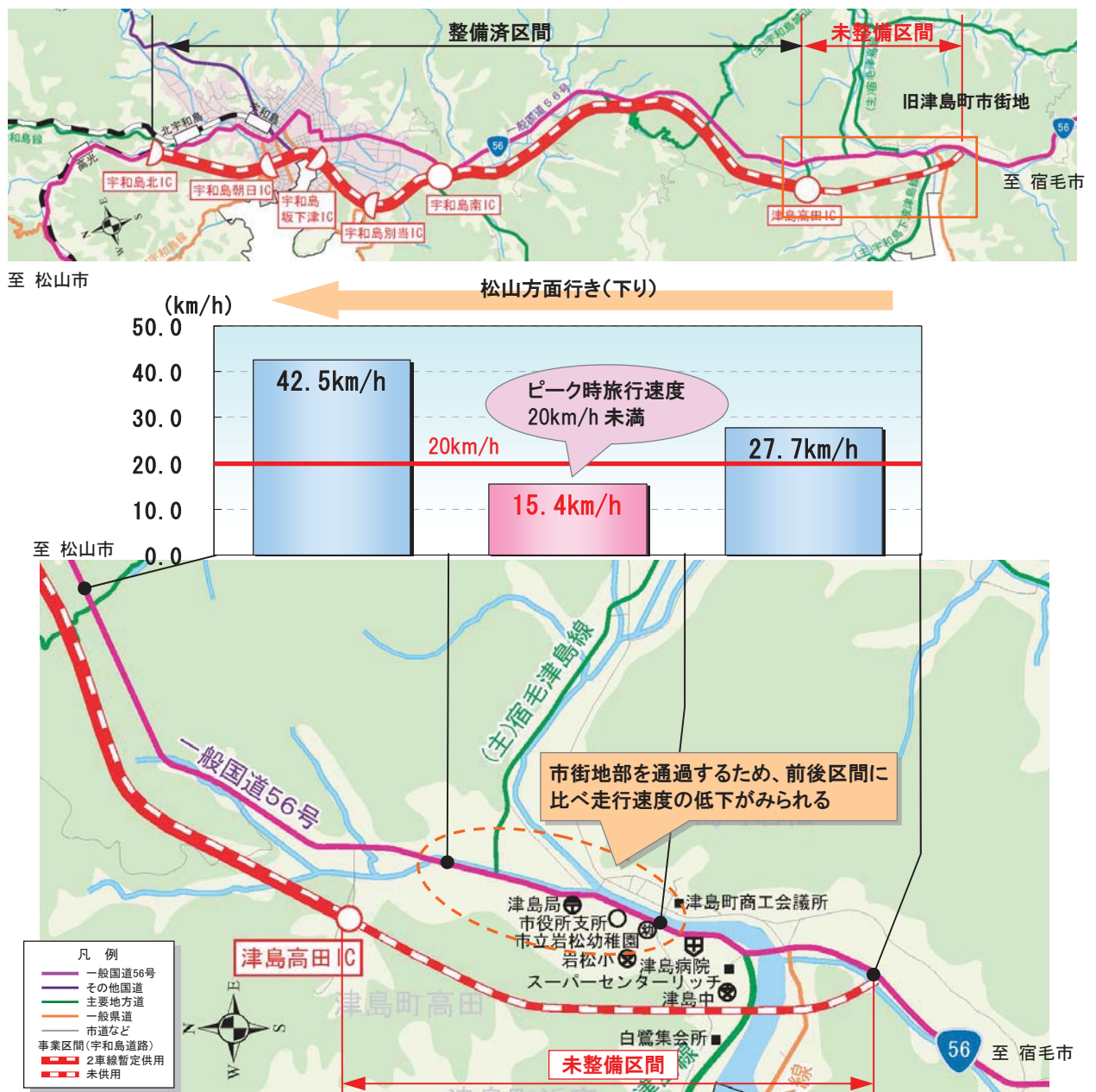
■現道等の年間時間損失及び削減率

■現道等の混雑時旅行速度 20km/h 未満の区間の旅行速度改善

現道の時間損失を 24%削減、旅行速度は 24.6km/h 上昇

【現状・課題】

- ・宇和島道路の未整備区間に並行する国道 56 号では、旧津島町の市街地において、ピーク時の旅行速度が 20km/h 未満となっており、前後区間に対する速度低下が見られる。

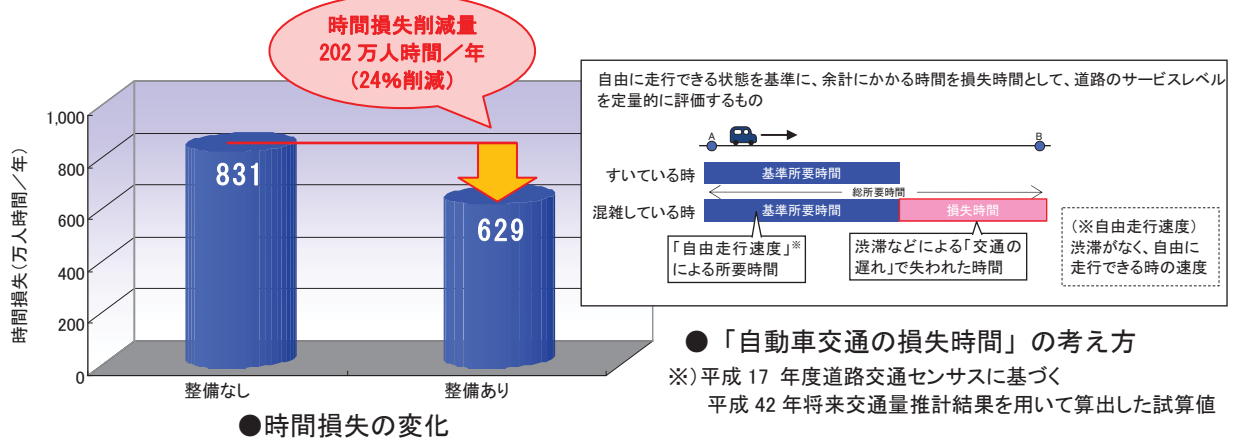


資料) H22.9プローブ調査(下り)

●国道 56 号旧津島町市街地におけるピーク時旅行速度(下り)

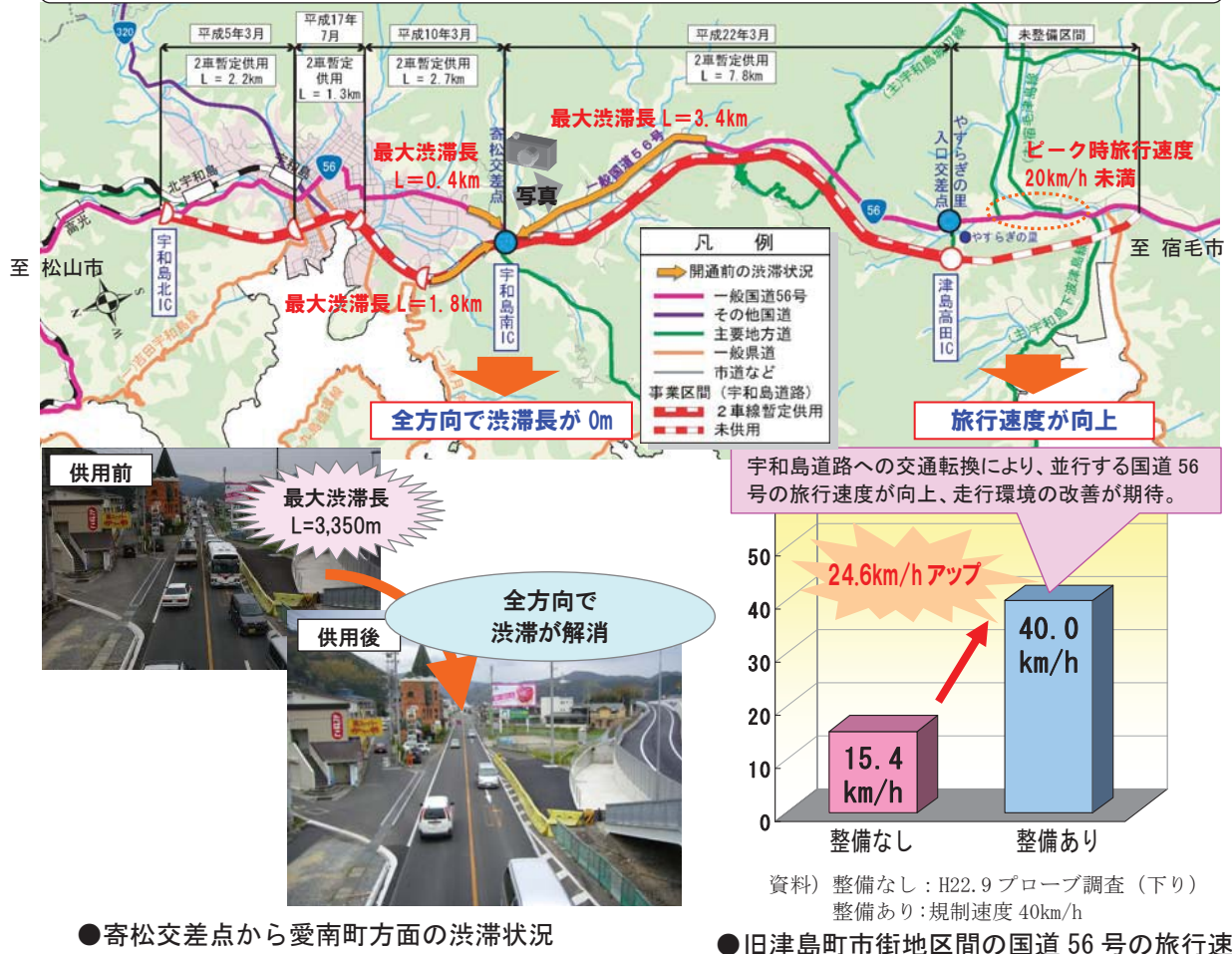
【整備効果 1】

- ・宇和島道路の整備により、現道から宇和島道路へ交通が転換するため、現道の交通混雑の緩和や走行速度が上昇し、その結果、時間損失が約 202 万人・時間／年（約 24%）削減できる。



【整備効果 2】

- ・宇和島道路の整備により、並行する国道 56 号から宇和島道路への交通転換が図られ、現道の旅行速度が向上し、走行速度の改善が期待される。



■三次医療施設へのアクセス向上

宇和島圏における三次医療施設へのアクセスが向上

【現状・課題】

- ・愛南町では、重篤救急患者に対し高度な医療を提供することができる三次医療施設がないため、隣接する宇和島市の「市立宇和島病院」への搬送が不可欠となっている。
- ・また、愛南町内の病院では、近年の医師不足や診療科の縮小により、管外搬送が増加しており、三次医療施設である宇和島病院への搬送の重要性が高まっている。

●医療圏別の救急患者受け入れ状況（平成21年11月の1カ月間）

医療圏	宇摩	新居浜・西条	今治	松山	八幡浜・大洲	宇和島	計
患者数	1,418	2,977	2,977	8,726	1,772	3,368	21,238
救急告示病院	4	11	13	17	9	5	59
患者数/救急告示病院	354.5	270.6	229.0	513.3	196.9	673.6	360.0

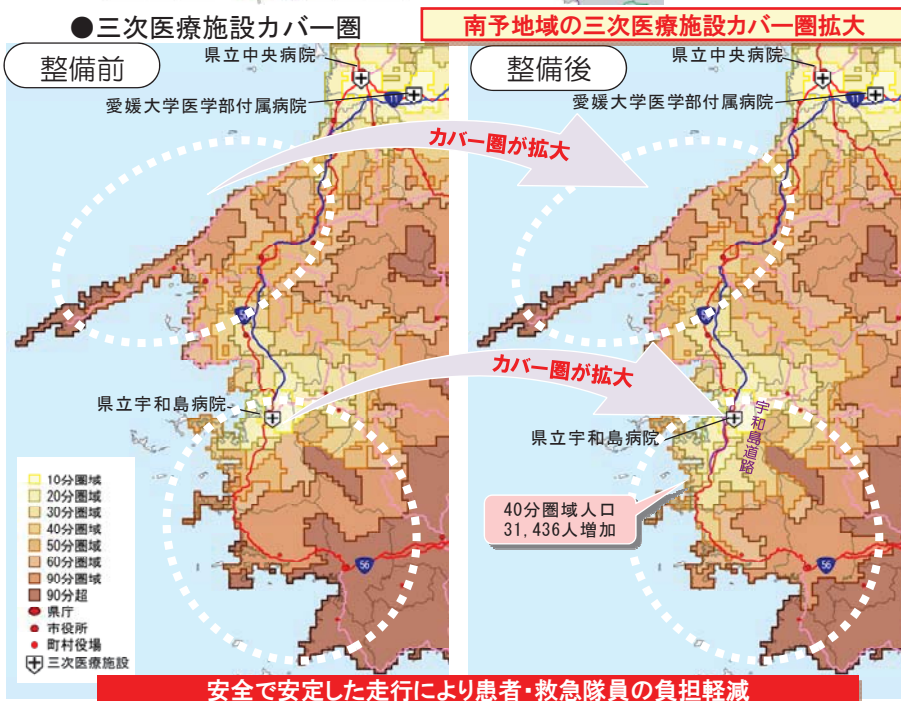
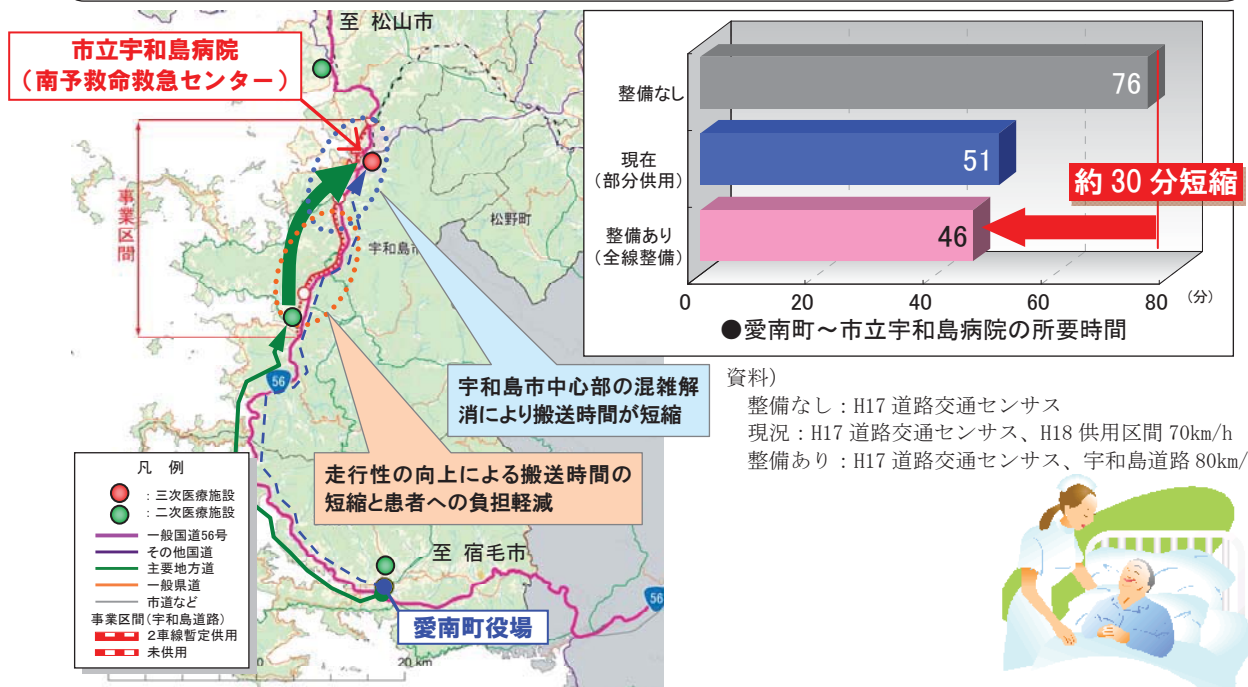
資料：救急患者受入実態調査結果（愛媛県保険福祉部）



●愛南消防本部の全搬送人員数と管轄外搬送人員数の推移

【整備効果】

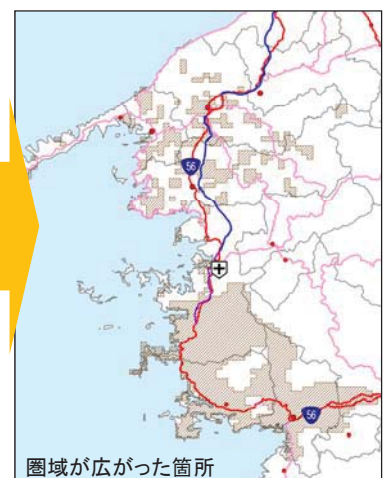
- ・宇和島道路の整備は、三次医療施設まで1時間以上を要していた愛南町の医療環境を大幅に改善し、地域医療の維持・確保を支援している。
- ・三次医療施設カバー圏が拡大し、40分圏域人口は31,436人増加。
- ・救急搬送時に、カーブや勾配の少ない宇和島道路を利用することで、搬送患者への負担が大きく軽減されるだけでなく、救急車内での措置が可能となる。



四国8の字ネットワークへの寄与度
40分圏：37%

寄与度＝当該道路による増分／
四国8の字ネットワークによる増分

※所要時間の算出
以下のデータを用いてメッシュと三次医療施設間の最短ルート探索により所要時間を算出
道路網：DRM (H22年度道路網)
速度：H17道路交通センサス混雑時速度
メッシュ：1kmメッシュ



消防署の声

- ・市立宇和島病院への救急搬送時には、宇和島道路を利用することで安全で短時間に搬送できるようになった。また、走行中の振動や揺れが少ないので救急車内での措置が可能となった。

※宇和島消防署津島分署

■大規模イベントを支援

平成29年に開催される大規模イベント「愛媛国体」および
「うわじま牛鬼まつり」等地域のイベントを支援

【現状・課題】

- ・平成29年開催予定の「愛媛国体」では、宇和島地方生活圏にも多くの内定会場が存在する。
- ・「うわじま牛鬼まつり」など、宇和島地方特有のイベントが定期的開催されている。



【整備効果】

- ・宇和島道路の整備により、宇和島地方生活圏内外のアクセスが強化され、大規模イベント「愛媛国体」のスムーズな運営や参加者の安全な移動、および地域のイベントを支援する。

■農林水産品の流通の利便性向上

特産物である農水産品の出荷を支援

【現状・課題 1】

- ・愛媛県の主要な特産物にみかん等の果物や、マダイ・ハマチといった養殖水産物など「鮮度」が売りの特産物がある。宇和島地方のシェアは比較的高く、県内みかん生産量の2割以上を宇和島市が占めている。
- ・農産物の出荷は、四国内だけでなく関西方面へも陸路で輸送されており、荷傷みの原因の揺れの解消や迅速な流通など品質向上のために宇和島道路の需要は高い。

●愛媛県の主要特産物

単位：t

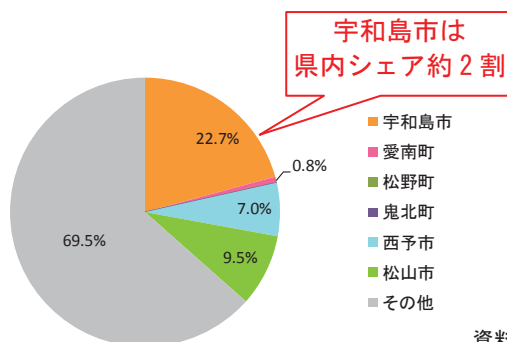
	品 目	生 産 量		シェア (%)	順 位	年 次	資料出所
		全 国	愛媛県				
農作物	み か ん	906,100	147,300	16.3	2	20	農林水産省 果樹生産出荷統計
	か き	266,600	11,000	4.1	8	"	
	び わ	7,110	598	8.4	5	"	
	く り	25,300	2,390	9.4	3	"	
	キ ウ イ フ ル ー ツ	38,400	9,600	25.0	1	"	
	裸 麦	16,100	6,150	38.2	1	"	
林産物	そ ら ま め	21,100	1,610	7.6	4	"	農林水産省 野菜生産出荷統計
	ヒ ノ キ 素 材 (千m)	1,886	183	9.7	1	"	農林水産省 特用林産基礎資料
	乾 し い た け	3,867	226	5.9	4	"	
水産物(養殖業)	木 ろ う	25	2	6.9	2	"	
	ぶ り 類	155,108	27,178	17.5	2	"	農林水産省 水産物生産統計調査
	ま だ い	71,588	38,864	54.3	1	"	
	ひ ら め	4,164	787	18.9	—	"	
	ば ら の り	10,640	3,521	33.1	2	"	
	真珠(淡水真珠を除く)(kg)	23,813	7,667	32.2	2	"	

「みかん」
生産量多く、
全国シェア第2位

「養殖まだい」
全国シェア約55%
圧倒的の第1位

資料：H22年度版 愛媛県市町村要覧

●愛媛県内のミカン収穫量のシェア（平成18年度）



平成18年度 みかん収穫量

市町	収穫量(t)	構成比
宇和島市	28,500	22.7%
愛南町	975	0.8%
松野町	—	—
鬼北町	0	0.0%
西予市	8,770	7.0%
松山市	11,900	9.5%
その他	75,155	60.0%
愛媛県	125,300	100.0%

資料：農林水産関係市町村別データ 平成18年 果樹 全国版

農業関係者の声

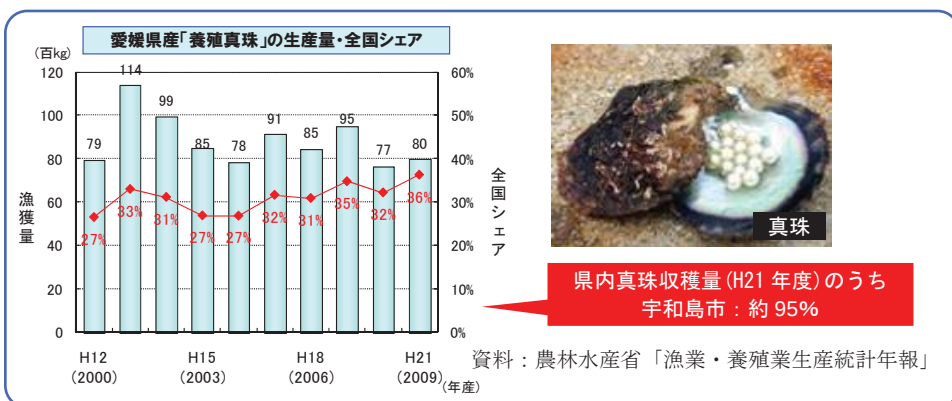
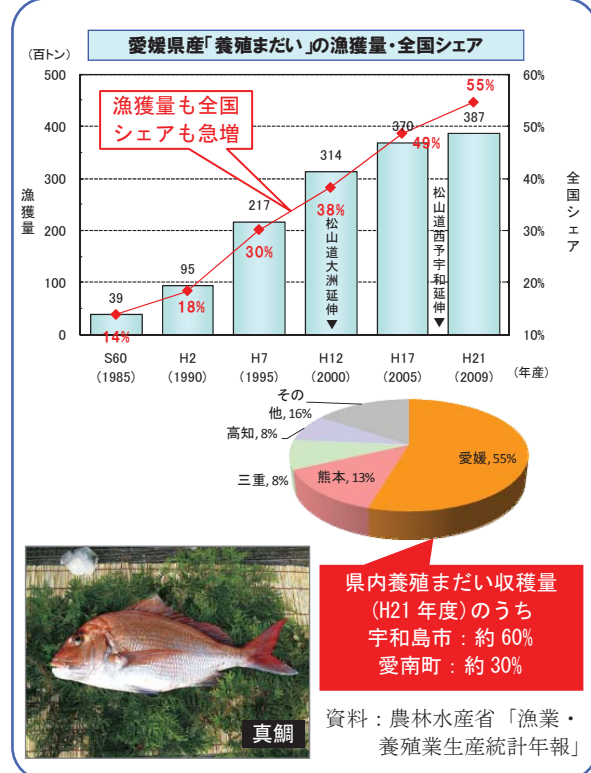
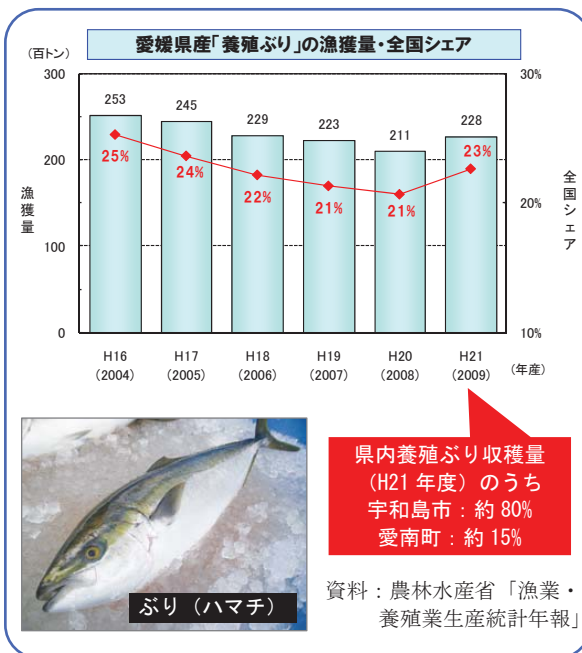
- ・出荷先は四国内が5割、県外が5割ですべて関西方面（大阪、京都等）であり、出荷ルートは陸路が多い。
- ・高速道路は西予までしかなく、高速が宇和島まで来てくれれば相当便利になる。道路整備が遅れており大変不便である。愛南町方面は高知との流通もあり、逆に宿毛からの農産物もこちらに来ることがある。

※JAえひめ南農業協同組合

【現状・課題 2】

- ・愛媛県の水産養殖業では、ぶり（ハマチ）（全国シェア 23%）、マダイ（全国シェア 55%）、真珠（全国シェア 36%）などの生産を宇和島市、愛南町が担っており、とりわけ真鯛は圧倒的な全国シェアを誇っている。また、愛南町には、四国有数のカツオ水揚量を誇る深浦港があり、鮮度を売りにしたブランドカツオ「びやびやかつお」を出荷している。
- ・水産物の県外への出荷は関西・関東方面が多く、時間の制約が小さい陸上輸送を利用しているが、現道は線形の悪い区間が多くあり、荷傷みの発生による商品価値の低下や迅速な流通が確保できない状態である。

●宇和島市と愛南町の特産物（水産品）



漁業関係者の声

- ・養殖ハマチの場合は海上輸送または活〆（鮮魚）による陸上輸送である。水産物の輸送は時間が勝負になるので、高速道路を活用。
- ・輸送中に活魚車の揺れがあるとストレスで魚が弱ったり、スレや傷がつくことがあるので、揺れの少ない高速道路の方が良い。

※JF愛媛漁連（愛媛県漁業協同組合連合会）宇和島支部

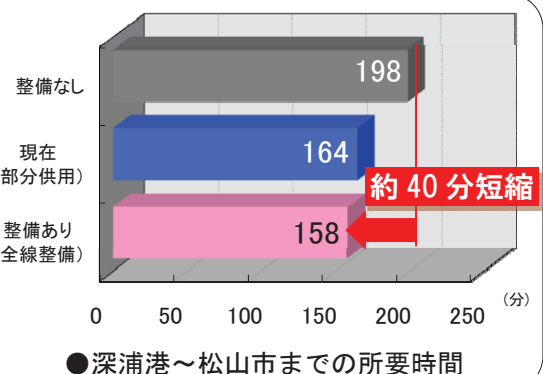
【整備効果】

- ・宇和島道路を整備することにより、迅速で確実な流通を確保し、品質向上が期待でき、地域産業の活性化の支援が期待できる。
- ・高速 I C カバー圏が南予地域で拡大し、高速道路 I C の利用が容易に。90 分圏内の事業所数は 3,508 事業所増加。



●びやびやかつお

『びやびやかつお』
釣ってから**6時間以内**（水揚げしてから**3時間以内**）の新鮮なカツオ。とても美味であり珍重されている。



資料)

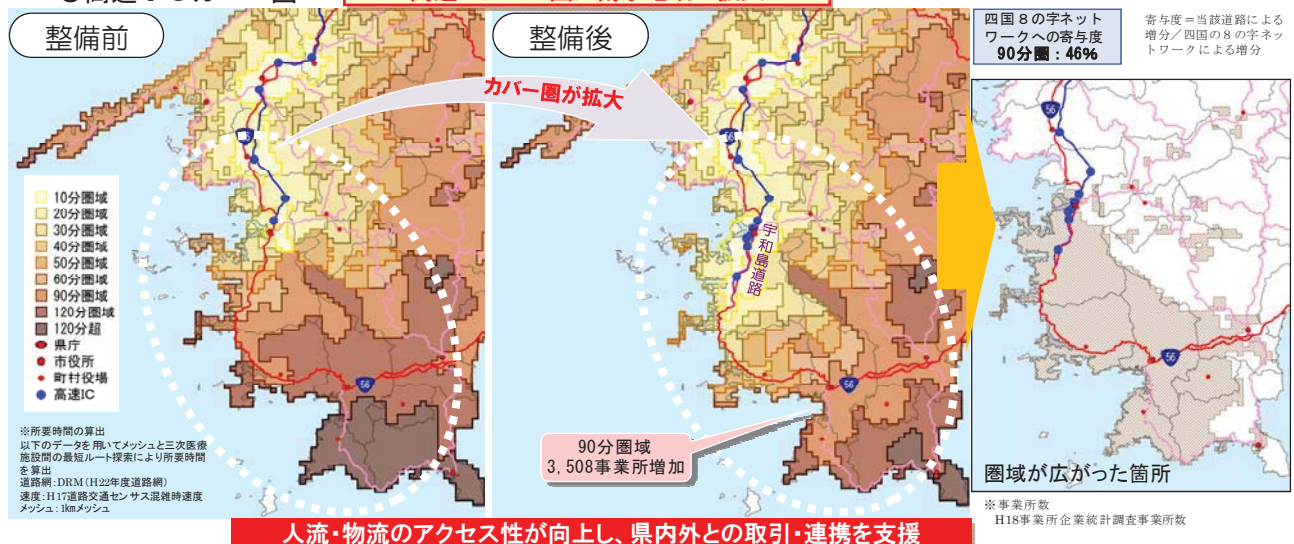
整備なし：H17 道路交通センサス

現況：H17 道路交通センサス、H18 供用区間 70km/h

整備あり：H17 道路交通センサス、宇和島道路 80km/h

●高速 I C カバー圏

高速ICカバー圏が南予地域へ拡大



■新規整備の公共公益施設へ直結する道路

「道の駅 みなとオアシスうわじま きさいや広場」に直結

【現状・課題】

- ・近年、宇和島港は、港の利活用が縮小し、にぎわいも薄れるなか、宇和島道路の整備により港と中心市街地が分断されることによる宇和島港の衰退が懸念されていた。
- ・そこで、宇和島道路の整備に合わせ、港と周辺施設との一体感を持たせ、この港のにぎわいを創出することを目的に「道の駅 みなとオアシスうわじま きさいや広場」が整備された。

＜道の駅 みなとオアシスうわじま
きさいや広場＞
平成 21 年 4 月にオープン。
宇和島市の地域特性である新鮮な農林
水産品などの販売だけでなく、食文化、
歴史文化の普及啓発、観光情報の発信
の場としても活用されている。



旅客船やフェリーなどの海上交通、バスなどの陸上交通とも結節しており、非常に利便性に富んだ施設

【整備効果】

- ・宇和島道路に直結した当該施設は、オープン当初より予想を上回る来店客数となっており、開業 1 年で当初目標の 2 倍の 100 万人が訪れるなど、好調が続いている。
- ・港のにぎわいを創出する様々な取り組みが実施されており、近隣からの来客だけでなく、宇和島道路を利用した遠方からの来客が今後も期待される。

人気ナンバーワン

旅行雑誌の実施した道の駅を対象にした満足度ランキングにおいて、四国内で第一位を獲得。

資料：「中国・四国じゃらん」平成 22 年 6 月号



主な取り組み

みなと野外コンサート(平成 21 年 8 月)



屋根付き広場を活用した地元出身歌手やアマチュアグループなどのコンサートを開催。

牛鬼の練り(平成 21 年 7 月)

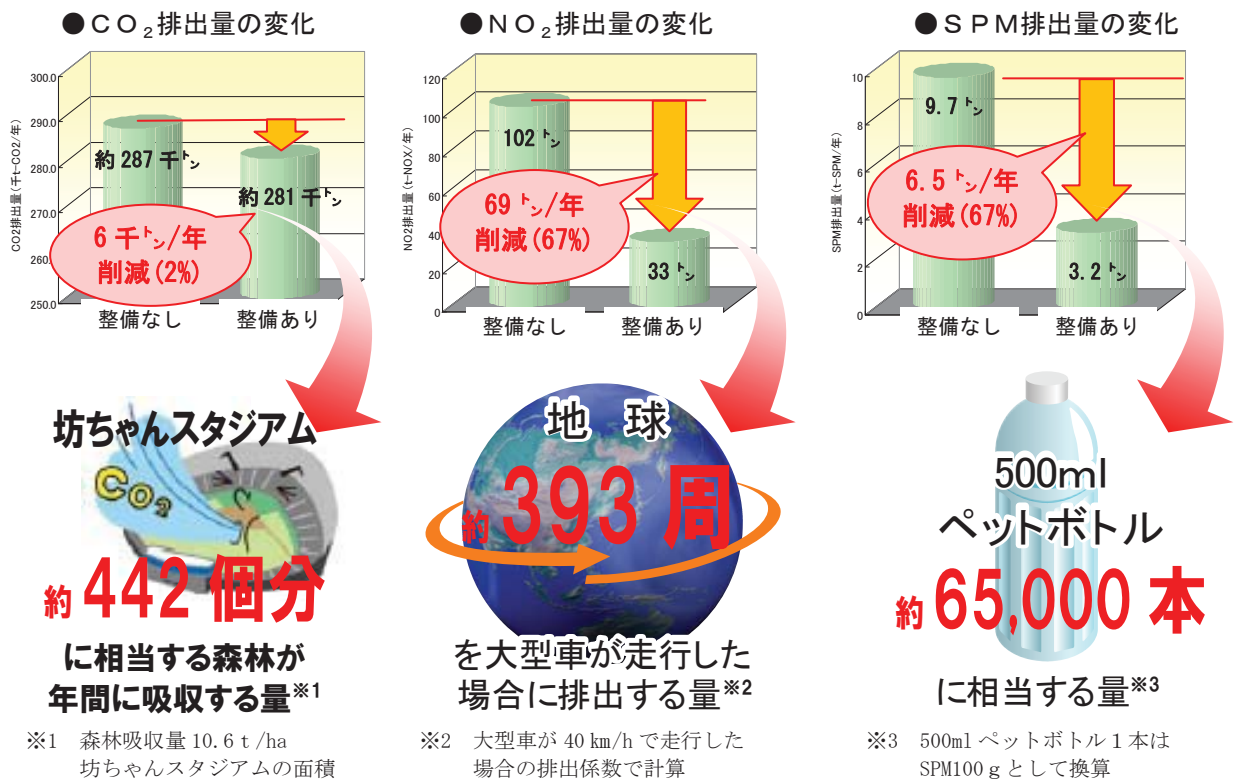


オープニングイベントやうわじま夏祭りなどで練る「牛鬼」はその壮大なスケールと迫力で観客を魅了

■自動車からのCO₂、NO₂、SPM排出量削減

CO₂、NO₂、SPM削減が期待される

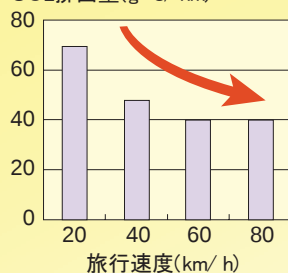
- ・宇和島道路の整備により、現道等における自動車からのCO₂、NO₂、SPMの削減が期待できる。



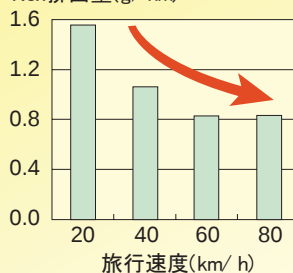
※) 平成 17 年度道路交通センサスに基づく平成 42 年
将来交通量推計結果を用いて算出した試算値

●走行速度と排出ガスの関係

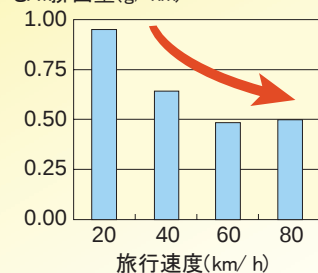
CO₂排出量(g-C/ km)



NO_x排出量(g/ km)



SPM排出量(g/ km)



※ 国土交通省道路局 HP 2001 資料「日本の道路」より



自動車から排出される有害物質の量は、自動車の走行速度と密接な関係があります。

走行速度が低い場合（渋滞など）には、上記グラフのように排出量が多く、周辺環境に大きな影響を及ぼすことになります。

走行速度が上がるとこの量は少なくなり、ある一定の速度になるまで低下する傾向にあります。

3. 1. 3 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化等



■周辺道路の整備状況

- ・平成12年 7月 松山自動車道
(伊予 IC～大洲 IC 供用)
- ・平成16年 4月 松山自動車道
(大洲北只 IC～西予宇和 IC 供用)
- ・平成22年 3月 宇和島道路
(宇和島南 IC～津島高田 IC 暫定2車供用)
- ・平成23年度 四国横断自動車
(西予宇和 IC～宇和島北 IC 暫定2車供用予定)

■大規模小売店舗の出店状況

- ・昭和60年10月 丸幸家具(1,035m²)
- ・平成 3年11月 エースワン宇和島南店
(2,050m²)
- ・平成12年 3月 スーパーセンターリッチ
津島店(1,633m²)
- ・平成12年 4月 ダイキ宇和島北店
(4,500m²)
- ・平成16年10月 フジグラン北宇和島別棟
(1,090m²)
- ・平成20年 1月 ヤマダ電機テックランド
宇和島店(3,663m²)
- ・平成21年 2月 マルナカ宇和島店
(4,944m²)
- ・平成21年 4月 ダイキ宇和島南店
(5,593m²)

■その他

- ・平成21年 3月 土日祝日上限1000円[普通車・軽自動車等]の社会実験の開始
- ・平成21年 4月 「道の駅 みなとオアシスうわじま きさいや広場」オープン
- ・平成22年 6月 高速道路無料化社会実験の開始
(松山 IC～大洲 IC、大洲北只 IC～西予宇和 IC)
- ・平成23年 6月 土日祝日上限1000円[普通車・軽自動車等]の社会実験の凍結
高速道路無料化社会実験の一時凍結
(松山 IC～大洲 IC、大洲北只 IC～西予宇和 IC)

3. 2 事業の投資効果

3. 2. 1 事業の投資効果

- ・費用便益比について残事業は1.0を下回っているが、事業全体では1.0を上回っている。
- ・津波発生時の被害回避、救急医療アクセスによる救命率の向上、救急搬送患者への負担軽減、環境負荷の低減、自然環境豊富な観光施設へのアクセス向上による観光客数の増加が期待される。

■ 3 便益による費用便益比

項 目		全体事業（億円）	残事業（億円）
費用（C）		2, 1 9 0 億円	3 6 0 億円
	事業費	2, 1 4 2 億円	3 4 1 億円
	維持管理費	4 7 億円	2 0 億円
便益額（B）		2, 5 5 2 億円	2 6 7 億円
	走行時間短縮便益	2, 0 6 0 億円	2 3 9 億円
	走行経費減少便益	3 0 4 億円	1 7 億円
	交通事故減少便益	1 8 7 億円	1 1 億円
	冬期の交通状況を考慮	0. 6 1 億円	0. 0 6 億円
	災害等による通行止めを考慮	1. 5 億円	0. 0 2 億円
費用便益比（B／C）		1. 2	0. 7
経済純現在価値（億円）		3 6 3 億円	－ 9 4 億円
経済的内部収益率（％）		5. 3 ％	2. 2 ％

- 注） 1. 費用及び便益は基準年（H 2 3）における現在価値の値
 2. 走行経費減少便益及び走行経費減少便益は「冬期の交通状況を考慮」「災害等による通行止めを考慮」の日数を切り分けて、通常期の便益のみとしており重複はなし。
 3. 「冬期の交通状況を考慮」は、冬期の状況を再現した交通量交通量推計を実施し、通常期間と切り分けて算出。なお冬期日数は過去の積雪実績日数により算出。
 4. 「災害等による通行止めを考慮」は災害等による通行止めの状況を再現した交通量交通量推計を実施し、通常期と切り分けて算出。なお通行止め日数は過去の実績により算出。
 5. 「冬期の交通状況を考慮」「災害等による通行止めを考慮」は走行時間短縮便益と走行経費減少便益を加算したものとしている。

■便益の算定方法について

○冬期の交通状況を考慮

(考え方)

- ・ 冬期の積雪や凍結により、走行速度や交通容量が低下する状況を想定
- ・ 過去10年間の積雪実績より速度低下する日数を1年間に0.4日と設定
- ・ 速度低下により、走行時間短縮便益、走行経費減少便益が通常よりも増加
- ・ 交通量推計により、走行時間短縮便益、走行経費減少便益を算出
- ・ 容量低下は実績値等のデータがないため、走行速度の低下のみを考慮
- ・ 速度低下の設定は、以下による（社団法人 北海道開発技術センター）

	4車市街	4車郊外	2車市街	2車郊外
自由速度低下率	14.5%	18.9%	12.7%	17.3%

(便益額)

冬期交通の速度低下状況の考慮によって、便益増加

[全事業：約0.61億円] [残事業：約0.06億円]

○災害等による通行止めを考慮

(考え方)

- ・ 災害等により現道の通行止めが発生したと想定
- ・ 過去10年間の災害等（冠水、法面崩壊）の実績より通行止めする日数を1年間で0.1日と設定
- ・ 通行止め箇所は宇和島道路との並行区間で通行止め実績が多い宇和島市和霊町付近と設定
- ・ 大幅な迂回により、迂回損失時間、迂回損失費用が発生
- ・ 交通量推計により、迂回損失時間、迂回損失費用を算出
- ・ とりやめ交通は実績値等がないため考慮しない

●通行止め位置図⇒



(便益額)

災害等による通行止めによる迂回が軽減し、便益発生

[全事業：約1.49億円] [残事業：約0.02億円]

■その他便益

○防災

- ・ 東南海・南海地震による津波被害の回避

（現道国道 56 号の津波浸水区間での人命確保が期待）

（盛土部による津波被害の低減が期待 盛土部後背地の世帯数約 120 世帯、建物数約 260 棟）

（近隣住民の盛土部への避難による負傷回避が期待 約 700 人、約 250 世帯）

- ・ 東南海・南海地震による津波での通行止めの回避

（現道国道 56 号の津波浸水区間の通行止めを回避することでの走行時間短縮効果や走行経費の減少が見込まれる）

（津波による孤立地域の解消 孤立地域：津島大橋以南：約 3.3 万人）

（孤立地域の解消による重傷者の人命確保）

（孤立地域の解消による営業機会の損失の回避）

（孤立地域の解消による不安感の解消）

- ・ 津波により被災する港湾の代替機能の期待

（港湾の取扱貨物量 宇和島港：約 28 万 t/年、岩松港：1.5 万 t/年）

○医療

- ・ 救急アクセスの向上（所要時間短縮）による人命確保

- ・ 一定速度での搬送が可能となり、搬送患者への負担に加え、救急隊員への負担が軽減される

○環境

- ・ 環境負荷ガス（CO₂、NO_x、SPM）の排出量削減

- ・ 現道沿線での騒音の低減

○ 産業・物流

- ・ 地域を代表する第一次産業（農林水産業）の流通強化による産業支援が期待

（養殖業の流通強化、販売エリア拡大）

- ・ インターチェンジ周辺への工場立地や、小売業出店の増加が期待

■感度分析（全事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	8,000～ 19,900 台/日	± 1 0 %	1. 1～1. 2
事業費	466 億円	± 1 0 %	1. 1～1. 2
事業期間	1 8 年	± 1 0 %	1. 2～1. 2

※事業費は残事業の単純価値の値を表す

※上記の交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの
 注）総便益は3便益に加え、冬期考慮の便益、通行止め解消便益を加えた値

■感度分析（残事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	8,000～ 19,900 台/日	± 1 0 %	0. 6～0. 9
事業費	466 億円	± 1 0 %	0. 7～0. 8
事業期間	1 8 年	± 1 0 %	0. 7～0. 8

※事業費は残事業の単純価値の値を表す

※上記の交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの
 注）総便益は3便益に加え、冬期考慮の便益、通行止め解消便益を加えた値

3. 2. 2 前回評価時からの事業計画の変化

	前回評価時 (平成 20 年度)	今回評価時 (平成 23 年度)	前回評価時からの変化要因
総費用 (C)	1,961 億円 [1,822 億円]	2,190 億円 [1,822 億円]	・ 基準年の見直しにより増加
総便益 (B)	2,618 億円	2,552 億円	・ H22 将来交通需要推計手法の 見直しにより減少
費用便益比 (B/C)	1. 3	1. 2	

※総費用及び総便益は基準年における現在価値の値。[] 書きは、維持管理費を除く単純価値の値。

注) 総便益は 3 便益に加え、冬期考慮の便益、通行止め解消便益を加えた値。

3. 3 事業の進捗状況

3. 3. 1 事業の進捗状況



工 区	5 工区	4 工区	3 工区	2 工区	1 工区
延 長	2.2 km	1.3 km	2.7 km	7.8 km	3.5 km
現 状	平成 5 年 3 月に 暫定 2 車線供用 (2/4 車線)	平成 7 年 2 月か ら平成 13 年 3 月 までに側道部を 暫定供用 平成 17 年度高 架部暫定 2 車線 供用 (2/4 車線)	平成 10 年 3 月に 暫定 2 車線供用 (2/4 車線)	平成 22 年 3 月に 暫定 2 車線供用 (2/4 車線)	平成 19 年度より 用地着手平成 20 年度より工事 着手 (未供用/2 車線)
用地 取得状況 (平成 22 年度末時点)	取得済				用地取得率 75%※
事業進捗率 (平成 22 年度末時点)	71%				

※ 1 工区の用地取得率は、平成 23 年 9 月末現在 98%

① 津島高田 IC 付近

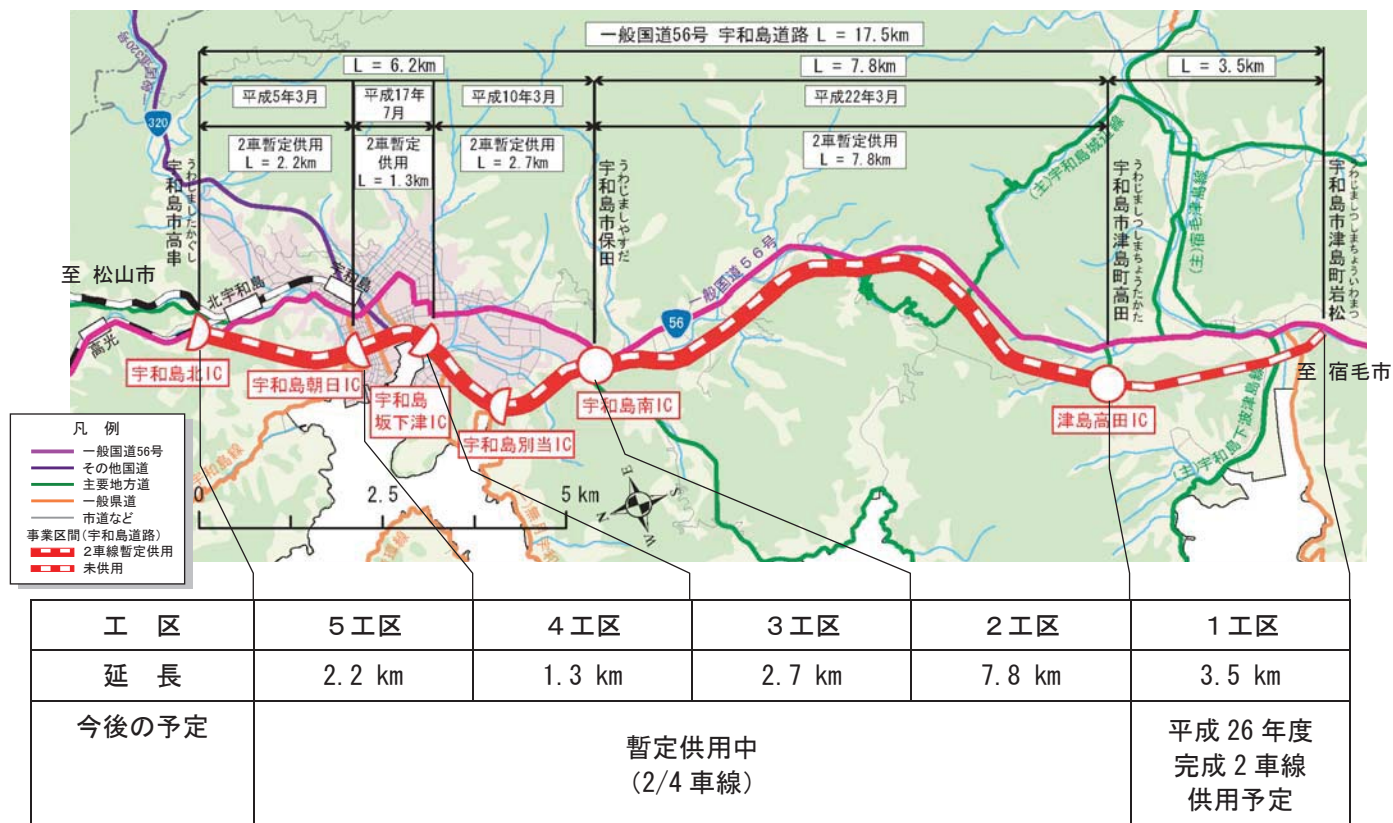


② 岩松川右岸から左岸側



4. 事業の進捗見込みの視点

- ・ 1工区は、平成26年度供用予定に向け、事業を推進している。



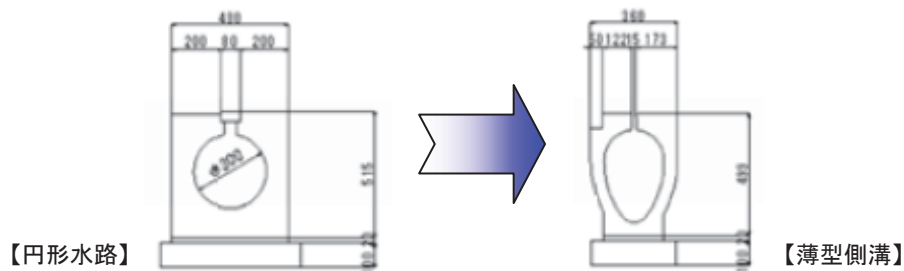
5. 事業見直し（コスト縮減）や代替案立案等の可能性の視点

5. 1 事業見直し（コスト縮減）

- ・路側排水工や舗装工の見直しにより、約 0.6 億円の事業見直し（コスト縮減）

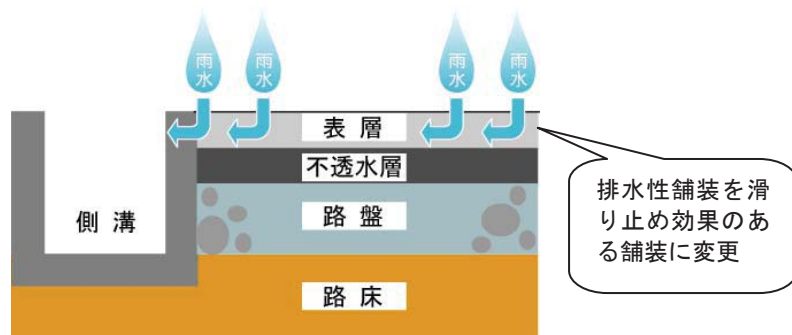
①トンネル内路側排水工の変更（薄型円形水路の採用）

トンネル内での路側排水工の見直しによって、排水管のコスト低減やコンクリート舗装が削減され、約 50 百万円のコスト縮減。



②ランプ部舗装の見直し（排水性舗装→密粒度ギャップアスコン）

設計（走行）速度が低いランプ部は、水はねが少ないため、排水性舗装から滑り止め効果のある舗装等に見直すことにより、約 10 百万円のコスト縮減。



5. 2 代替案立案等の可能性

- ・現国道 56 号を拡幅する案や、岩松川右岸で暫定取付が可能ないように、線形を海側へ振ったルートなどの代替案が比較検討されたが、起点位置より終点位置へ最短距離で接続した本ルートが代替性、経済性で最も優れ、代替案の可能性はない。

6. 地方公共団体等からの要望

- ・周辺の自治体などから、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。

【平成21年度】

年月	内容	団体名
平成21年7月	要望活動	国道56号一本松・宇和島間整備促進協議会
平成21年7月	要望活動	愛媛県知事・愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会
平成22年3月	要望活動	四国西南地域道路整備促進協議会

【平成22年度】

年月	内容	団体名
平成22年8月	要望活動	国道56号一本松・宇和島間整備促進協議会
平成22年8月	要望活動	愛媛県知事・愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会
平成23年3月	要望活動	四国西南地域道路整備促進協議会

7. 対応方針(原案)

①再評価の視点

(1) 事業の必要性に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

【事業を巡る社会情勢等の変化】

- 宇和島市の人口は減少傾向、自動車保有台数は横ばいだが、自動車への依存が高い
- 高速ネットワーク「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクに該当
- 緊急輸送路である国道56号では、地震時の津波浸水エリアが存在
- 未整備区間に並行する旧津島町ではピーク時旅行速度が15.4km/hと低い
- 愛南町は三次医療施設がなく、最も近い市立宇和島病院までの搬送が必要
- 宇和島市・愛南町では、県平均よりも構成比の高い1次産業が低迷

【事業の効果や必要性】

- 鉄道空白地であり、道路が唯一の交通インフラ
- ミッシングリンクの解消により人や物の交流を支援
- 緊急輸送路である国道56号の代替路として機能を発揮
- 宇和島道路への交通転換により並行する現道の走行速度が向上
- 愛南町から3次医療施設(市立宇和島病院)までのアクセス向上
- 地域の特産物(農産物:みかん、水産物:マダイ、ハマチの養殖、カツオ)の流通向上
- 大規模イベントである、平成29年愛媛国体の開催を支援

2) 事業の投資効果

- 費用便益比(B/C) [事業全体] 1.2 [残事業] 0.7

残事業は1.0を下回っているが、事業全体では1.0を上回っている。

■その他便益

○防災

- ・東南海・南海地震による津波被害の回避
(現道の人命確保が期待、盛土部による津波被害の低減が期待、近隣住民の盛土部への避難による負傷回避が期待)
- ・東南海・南海地震による津波での通行止めの回避
(通行止め回避による走行時間短縮効果・走行経費の減少、津波による孤立地域の解消、孤立地域の解消による重傷者の人命確保・営業機会損失の回避・不安感の解消)
- ・津波により被災する港湾の代替機能が期待

○医療

- ・救急アクセスの向上(所要時間短縮)による人命確保
- ・一定速度での搬送が可能となり、搬送患者への負担に加え、救急隊員への負担が軽減される

○環境

- ・環境負荷ガス(CO2、NOx、SPM)の排出量削減
- ・沿線地域の騒音レベルの低減

○産業・物流

- ・地域を代表する第一次産業(農林水産業)の流通強化による産業支援が期待
- ・インターチェンジ周辺への工場立地や、小売業出店の増加が期待

など、多様な整備効果が期待できる。

3) 事業の進捗状況

- 津島高田 IC～宇和島北 IC 間 (14.0km) は、平成 21 年度までに暫定 2 車供用済み。
- 全体の事業進捗率は 71%。(平成 22 年度末)

(2) 事業進捗の見込みの視点

【事業進捗見込み】

- 1 工区は、平成 26 年度供用予定に向け、事業を推進している。
- 平成 22 年度末の 1 工区の用地取得率は 75%。(平成 23 年 9 月末現在 : 98%)

(3) 事業見直し(コスト縮減)や代替案等の可能性の視点

【事業見直し(コスト縮減)や代替案】

- 路面排水工や舗装工の見直しにより、約 0.6 億円の事業見直し(コスト縮減)を図る。
- 現国道 56 号を拡幅する案や、岩松川右岸で暫定取付が可能のように、線形を海側へ振ったルートなどの代替案が比較検討されたが、起点位置より終点位置へ最短距離で接続した本ルートが代替性、経済性で最も優れ、代替案の可能性はない。

②地方公共団体の意見

【愛媛県知事意見】

- 国の「対応方針(原案)」案については異議ありません。【継続】
一般国道 56 号宇和島道路は、四国 8 の字ネットワークを形成する高規格幹線道路であるとともに、本県の南予地域の活性化や救命・救急医療、大規模災害時における避難や緊急輸送など防災・減災において大きな役割を担う必要不可欠な道路であり、県民はその一日も早い完成を待ち望んでいます。
については、一般国道 56 号宇和島道路の早期完成をお願いします



【今後の対応方針(原案)】

- 以上のことから、宇和島道路の事業を継続する。

県への意見照会と回答

国四整企画第38号

平成23年10月11日

愛媛県知事 殿

四国地方整備局長



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

平素より国土交通省直轄事業の推進にあたり、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、四国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年10月31日に第3回委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年10月24日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

四国地方整備局 企画部 企画課 企画第一係

電話 087-811-8308

FAX 087-811-8408

(再評価)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
重信川直轄河川改修事業	継続	
肱川土地利用一体型水防災事業 (大和(上老松))	継続	

※貴県の意見を踏まえ、四国地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道56号 宇和島道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、四国地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

23土(技)第479号
平成23年10月20日

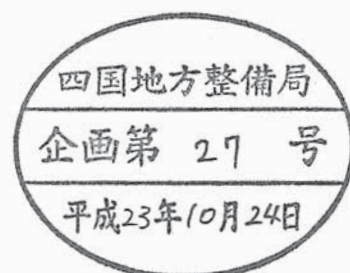
四国地方整備局長 様

愛媛県知事 中村 時広



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)
の作成に係る意見照会について(回答)

平成23年10月11日付け国四整企画第38号で依頼のあった標記の件について、別紙のとおり回答いたします。



各事業の再評価に対する意見は下記のとおりであり、国の「対応方針(原案)」案については異議ありません。

【河川事業】

事業名	「対応方針（原案）」案	備考
重信川直轄河川改修事業	継続	意見は下記のとおり
肱川土地利用一体型 水防災事業 (大和（上老松）)	継続	〃

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案	備考
一般国道５６号 宇和島道路	継続	意見は下記のとおり

記

○重信川直轄河川改修事業に対する意見

重信川直轄河川改修事業は、重信川流域の安全安心の確保のため必要な事業であり、事業の着実な促進をお願いします。

○肱川土地利用一体型水防災事業（大和（上老松））に対する意見

肱川流域の安全安心の確保のためには、河川整備計画に基づく堤防整備と鹿野川ダム改造及び山鳥坂ダム建設の３つの治水事業が必要であると考えており、肱川土地利用一体型水防災事業（大和（上老松））は、堤防整備の一部工区であり、事業の着実な促進をお願いします。

○一般国道５６号宇和島道路に対する意見

一般国道５６号宇和島道路は、四国８の字ネットワークを形成する高規格幹線道路であるとともに、本県の南予地域の活性化や救命・救急医療、大規模災害時における避難や緊急輸送など防災・減災において大きな役割を担う必要不可欠な道路であり、県民はその一日も早い完成を待ち望んでいます。

については、一般国道５６号宇和島道路の早期完成をお願いします。

費用便益比算出資料

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道５６号	宇和島道路	L＝１７．５ｋｍ	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
8,000～19,900	4, 2	四国地方整備局

上記の計画交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの。

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成23年		
単純合計	1,744億円	72億円	1,816億円
うち残事業分	466億円	67億円	532億円
基準年における 現在価値（C）	2,142億円	47億円	2,190億円
うち残事業分	341億円	20億円	360億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成23年			
供 用 年	暫定供用：平成５年、平成１０年、平成１３年、平成１８年、 平成２２年、平成２７年 完成供用：平成４２年			
単年便益 (初年便益)	19億円	3億円	2億円	25億円
基準年における 現在価値（B）	2,062億円	304億円	187億円	2,552億円
うち残事業分	239億円	17億円	11億円	267億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	363億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.3%
費用便益比（残事業）	0.7
経済的純現在価値（残事業）	-94億円
経済的内部収益率（残事業）	2.2%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （全事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	8,000～19,900	±10%	1.1～1.2
事業費	466億円	±10%	1.1～1.2
事業期間	18年	±10%	1.2～1.2

④ 感 度 分 析 （残事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	8,000～19,900	±10%	0.6～0.9
事業費	466億円	±10%	0.7～0.8
事業期間	18年	±10%	0.7～0.8

交通状況の変化

様式－３①

事業名：宇和島道路

【全事業】

(推計時点 H42年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] :17.5km		交通量	[台/日]	0	12,300
		走行時間	[分]	0	13
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	28.26
②主な周 辺道路	国道56号 :30.5km	交通量	[台/日]	10,300	3,700
		走行時間	[分]	54	46
		走行時間費用	[億円/年]	115.98	31.52
	国道320号 :13.2km	交通量	[台/日]	7,100	7,200
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	23.81	24.43
	57. 広見三 間宇和島 線 :15.3km	交通量	[台/日]	7,300	3,400
		走行時間	[分]	23	22
		走行時間費用	[億円/年]	29.84	12.82
	269. 無月 宇和島線 :10.2km	交通量	[台/日]	900	800
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	3.12	2.52
	宇和島道 路 側道 部 :1.3km	交通量	[台/日]	0	12,000
		走行時間	[分]	0	2
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	3.61
③その他道路合計 :1264.3km		走行時間費用	[億円/年]	671.33	669.78

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1,352km	走行時間短縮便益	[億円/年]	844.08	772.93	71.15

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－３①

事業名：宇和島道路

【残事業】

(推計時点 H42年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] :17.5km		交通量	[台/日]	11,800	12,300
		走行時間	[分]	15	13
		走行時間費用	[億円/年]	31.54	28.26
②主な周 辺道路	国道56号 :30.5km	交通量	[台/日]	5,100	3,700
		走行時間	[分]	48	46
		走行時間費用	[億円/年]	46.50	31.52
	国道320号 :13.2km	交通量	[台/日]	7,300	7,200
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	24.55	24.43
	57. 広見三 間宇和島 線 :15.3km	交通量	[台/日]	3,400	3,400
		走行時間	[分]	22	22
		走行時間費用	[億円/年]	12.69	12.82
	269. 無月 宇和島線 :10.2km	交通量	[台/日]	800	800
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	2.74	2.52
	宇和島道 路 側道 部 :1.3km	交通量	[台/日]	9,600	12,000
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	2.89	3.61
③その他道路合計 :1264.3km		走行時間費用	[億円/年]	671.98	669.78

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1,352km	走行時間短縮便益	[億円/年]	792.89	772.93	19.96

※１： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４： 当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：宇和島道路

(2)

項目			チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		☒	
	その他		☐	
分析の基本的事項	分析対象期間		50年	
	社会的割引率		4%	
	基準年次		平成23年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		☒
		整備の有無のいずれかのみ推計		☐ 有 ☐ 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
	開発交通量の考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	() 台トリップ/日
		考慮した理由を記載		
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
その他()				
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
その他()		☐		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 対象路線における実際の交通状況(速度：プローブ調査)が概ね反映されている。		☒	
	最終配分の速度 採用理由を記載		☐	
	その他()		☐	

(3)

	項目	チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	■	
		考慮する	□	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	() %
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	□	
		考慮する	■	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	(0.1) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			過去の通行規制における宇和島市の平均規制時間により設定	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	とり止め交通を算出する実績データや、アンケート結果がないため			
	冬期交通の影響	考慮しない	□	
		考慮する	■	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	(0.4) 日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			過去の雪氷規制における宇和島市の平均規制時間により設定	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
設定の考え方を記載				
交通容量低下に関する実績データがないため、速度低下のみ考慮				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	■		
	その他 ()	□		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	□		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	□		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	■		
	中央分離帯の有無を考慮しない	□		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	■		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	□		
その他				

事業名:宇和島道路

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☒
		標準投資パターンを採用	☐
		その他()	☐
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 大洲河川国道事務所の実績値より設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐
その他			
4. その他			
上記のほか、B／Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。			

費用の現在価値算定表【全事業】

箇所名：宇和島道路

維持管理費の単純単価の算出

				単価(億円)		延長(km)	単純価値(億円)
				0.13		17.5	2.28
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
－9年目	S 59	2.8834	92.3	0.21	0.59	0.00	0.00
－8年目	S 60	2.7725	93.0	2.57	6.90	0.00	0.00
－7年目	S 61	2.6658	94.6	2.00	5.07	0.00	0.00
－6年目	S 62	2.5633	94.4	4.01	9.80	0.00	0.00
－5年目	S 63	2.4647	94.9	22.65	52.94	0.00	0.00
－4年目	H 1	2.3699	97.4	32.00	70.08	0.00	0.00
－3年目	H 2	2.2788	99.6	46.82	96.41	0.00	0.00
－2年目	H 3	2.1911	102.0	47.23	91.31	0.00	0.00
－1年目	H 4	2.1068	103.4	50.67	92.92	0.00	0.00
供用開始年次	H 5	2.0258	103.7	53.30	93.71	0.22	0.39
1年目	H 6	1.9479	103.6	53.00	89.69	0.22	0.37
2年目	H 7	1.8730	103.0	68.83	112.65	0.22	0.36
3年目	H 8	1.8009	102.4	43.63	69.06	0.22	0.35
4年目	H 9	1.7317	103.4	50.62	76.30	0.22	0.33
5年目	H 10	1.6651	102.8	45.58	66.45	0.58	0.85
6年目	H 11	1.6010	101.3	57.98	82.47	0.58	0.83
7年目	H 12	1.5395	99.7	65.04	90.39	0.58	0.81
8年目	H 13	1.4802	98.4	78.42	106.17	0.74	1.01
9年目	H 14	1.4233	96.6	75.10	99.59	0.74	0.99
10年目	H 15	1.3686	95.4	47.69	61.57	0.74	0.96
11年目	H 16	1.3159	94.4	62.37	78.25	0.74	0.93
12年目	H 17	1.2653	93.2	55.51	67.83	0.74	0.91
13年目	H 18	1.2167	92.5	78.15	92.52	0.62	0.73
14年目	H 19	1.1699	91.7	71.68	82.30	0.62	0.71
15年目	H 20	1.1249	91.2	66.68	74.02	0.62	0.69
16年目	H 21	1.0816	90.0	46.25	50.02	0.62	0.67
17年目	H 22	1.0400	90.0	18.53	19.27	1.40	1.46
18年目	H 23	1.0000	90.0	31.71	31.71	1.40	1.40
19年目	H 24	0.9615	90.0	50.61	48.66	1.40	1.35
20年目	H 25	0.9246	90.0	51.05	47.20	1.40	1.29
21年目	H 26	0.8890	90.0	17.38	15.45	1.40	1.24
22年目	H 27	0.8548	90.0	19.14	16.36	1.75	1.50
23年目	H 28	0.8219	90.0	23.80	19.56	1.75	1.44
24年目	H 29	0.7903	90.0	25.71	20.32	1.75	1.38
25年目	H 30	0.7599	90.0	24.28	18.45	1.75	1.33
26年目	H 31	0.7307	90.0	22.38	16.35	1.75	1.28
27年目	H 32	0.7026	90.0	22.76	15.99	1.75	1.23
28年目	H 33	0.6756	90.0	25.71	17.37	1.75	1.18
29年目	H 34	0.6496	90.0	27.14	17.63	1.75	1.14
30年目	H 35	0.6246	90.0	24.76	15.47	1.75	1.09
31年目	H 36	0.6006	90.0	22.64	13.60	1.75	1.05
32年目	H 37	0.5775	90.0	22.85	13.20	1.75	1.01
33年目	H 38	0.5553	90.0	22.85	12.69	1.75	0.97
34年目	H 39	0.5339	90.0	23.80	12.71	1.75	0.93
35年目	H 40	0.5134	90.0	21.42	11.00	1.75	0.90
36年目	H 41	0.4936	90.0	17.55	8.66	1.75	0.86
37年目	H 42	0.4746	90.0	0.00	0.00	2.28	1.08
38年目	H 43	0.4564	90.0	0.00	0.00	2.28	1.04
39年目	H 44	0.4388	90.0	0.00	0.00	2.28	1.00
40年目	H 45	0.4220	90.0	0.00	0.00	2.28	0.96
41年目	H 46	0.4057	90.0	0.00	0.00	2.28	0.92
42年目	H 47	0.3901	90.0	0.00	0.00	2.28	0.89
43年目	H 48	0.3751	90.0	0.00	0.00	2.28	0.85
44年目	H 49	0.3607	90.0	0.00	0.00	2.28	0.82
45年目	H 50	0.3468	90.0	0.00	0.00	2.28	0.79
46年目	H 51	0.3335	90.0	0.00	0.00	2.28	0.76
47年目	H 52	0.3207	90.0	0.00	0.00	2.28	0.73
48年目	H 53	0.3083	90.0	0.00	0.00	2.28	0.70
49年目	H 54	0.2965	90.0	-230.30	-68.28	2.28	0.67
合 計				1,513.76	2,142.38	71.87	47.14
単純事業費計				1744		72	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表【残事業】

箇所名：宇和島道路

維持管理費の単純単価の算出

箇所名: 宇和島道路				維持管理費の単純単価の算出			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.10	17.5	1.75	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
－3年目	H 24	0.9615	90.0	50.61	48.66	0.00	0.00
－2年目	H 25	0.9246	90.0	51.05	47.20	0.00	0.00
－1年目	H 26	0.8890	90.0	17.38	15.45	0.00	0.00
供用開始年次	H 27	0.8548	90.0	19.14	16.36	0.35	0.30
1年目	H 28	0.8219	90.0	23.80	19.56	0.35	0.29
2年目	H 29	0.7903	90.0	25.71	20.32	0.35	0.28
3年目	H 30	0.7599	90.0	24.28	18.45	0.35	0.27
4年目	H 31	0.7307	90.0	22.38	16.35	0.35	0.26
5年目	H 32	0.7026	90.0	22.76	15.99	0.35	0.25
6年目	H 33	0.6756	90.0	25.71	17.37	0.35	0.24
7年目	H 34	0.6496	90.0	27.14	17.63	0.35	0.23
8年目	H 35	0.6246	90.0	24.76	15.47	0.35	0.22
9年目	H 36	0.6006	90.0	22.64	13.60	0.35	0.21
10年目	H 37	0.5775	90.0	22.85	13.20	0.35	0.20
11年目	H 38	0.5553	90.0	22.85	12.69	0.35	0.19
12年目	H 39	0.5339	90.0	23.80	12.71	0.35	0.19
13年目	H 40	0.5134	90.0	21.42	11.00	0.35	0.18
14年目	H 41	0.4936	90.0	17.55	8.66	0.35	0.17
15年目	H 42	0.4746	90.0	0.00	0.00	1.75	0.83
16年目	H 43	0.4564	90.0	0.00	0.00	1.75	0.80
17年目	H 44	0.4388	90.0	0.00	0.00	1.75	0.77
18年目	H 45	0.4220	90.0	0.00	0.00	1.75	0.74
19年目	H 46	0.4057	90.0	0.00	0.00	1.75	0.71
20年目	H 47	0.3901	90.0	0.00	0.00	1.75	0.68
21年目	H 48	0.3751	90.0	0.00	0.00	1.75	0.66
22年目	H 49	0.3607	90.0	0.00	0.00	1.75	0.63
23年目	H 50	0.3468	90.0	0.00	0.00	1.75	0.61
24年目	H 51	0.3335	90.0	0.00	0.00	1.75	0.58
25年目	H 52	0.3207	90.0	0.00	0.00	1.75	0.56
26年目	H 53	0.3083	90.0	0.00	0.00	1.75	0.54
27年目	H 54	0.2965	90.0	0.00	0.00	1.75	0.52
28年目	H 55	0.2851	90.0	0.00	0.00	1.75	0.50
29年目	H 56	0.2741	90.0	0.00	0.00	1.75	0.48
30年目	H 57	0.2636	90.0	0.00	0.00	1.75	0.46
31年目	H 58	0.2534	90.0	0.00	0.00	1.75	0.44
32年目	H 59	0.2437	90.0	0.00	0.00	1.75	0.43
33年目	H 60	0.2343	90.0	0.00	0.00	1.75	0.41
34年目	H 61	0.2253	90.0	0.00	0.00	1.75	0.39
35年目	H 62	0.2166	90.0	0.00	0.00	1.75	0.38
36年目	H 63	0.2083	90.0	0.00	0.00	1.75	0.36
37年目	H 64	0.2003	90.0	0.00	0.00	1.75	0.35
38年目	H 65	0.1926	90.0	0.00	0.00	1.75	0.34
39年目	H 66	0.1852	90.0	0.00	0.00	1.75	0.32
40年目	H 67	0.1780	90.0	0.00	0.00	1.75	0.31
41年目	H 68	0.1712	90.0	0.00	0.00	1.75	0.30
42年目	H 69	0.1646	90.0	0.00	0.00	1.75	0.29
43年目	H 70	0.1583	90.0	0.00	0.00	1.75	0.28
44年目	H 71	0.1522	90.0	0.00	0.00	1.75	0.27
45年目	H 72	0.1463	90.0	0.00	0.00	1.75	0.26
46年目	H 73	0.1407	90.0	0.00	0.00	1.75	0.25
47年目	H 74	0.1353	90.0	0.00	0.00	1.75	0.24
48年目	H 75	0.1301	90.0	0.00	0.00	1.75	0.23
49年目	H 76	0.1251	90.0	-0.04	-0.01	1.75	0.22
合 計				465.79	340.66	66.50	19.58
単純事業費計				466	67		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表【全事業】

箇所名: 宇和島道路

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 5	1.03092	0.96679	1.07427	1.00774	2.0258	103.7	9.83	6.38	2.95	19.15	38.80	1.96	0.89	0.50	3.35	6.79	2.09	4.24	24.60	49.83
1年目	H 6	1.03092	0.96679	1.07427	1.00774	1.9479	103.6	10.13	6.17	3.17	19.47	37.92	2.02	0.86	0.54	3.42	6.67	2.11	4.11	25.00	48.70
2年目	H 7	1.03092	0.99734	1.00153	1.00774	1.8730	103.0	10.44	6.15	3.17	19.77	37.02	2.09	0.86	0.54	3.48	6.52	2.12	3.98	25.38	47.52
3年目	H 8	1.05423	0.99734	1.00153	1.03203	1.8009	102.4	11.01	6.13	3.18	20.32	36.60	2.20	0.86	0.54	3.60	6.47	2.19	3.95	26.11	47.02
4年目	H 9	1.05423	0.99734	1.00153	1.03203	1.7317	103.4	11.61	6.12	3.18	20.91	36.21	2.32	0.85	0.54	3.71	6.43	2.26	3.92	26.88	46.56
5年目	H 10	1.05423	0.99734	1.00153	1.03203	1.6651	102.8	14.04	6.87	3.61	24.52	40.83	2.63	0.91	0.62	4.16	6.92	2.59	4.32	31.27	52.07
6年目	H 11	1.05423	0.99734	1.00153	1.03203	1.6010	101.3	14.81	6.85	3.62	25.27	40.46	2.78	0.91	0.62	4.30	6.88	2.68	4.28	32.24	51.62
7年目	H 12	1.05423	0.99621	1.02052	1.03203	1.5395	99.7	15.01	6.62	3.69	25.31	38.97	2.81	0.88	0.63	4.32	6.65	2.68	4.12	32.31	49.74
8年目	H 13	1.01358	0.99621	1.02052	1.00085	1.4802	98.4	28.17	11.73	6.46	46.36	68.62	4.24	1.23	0.95	6.42	9.51	4.15	6.14	56.93	84.27
9年目	H 14	1.01358	0.99621	1.02052	1.00085	1.4233	96.6	28.55	11.33	6.59	46.48	66.15	4.30	1.19	0.97	6.46	9.19	4.15	5.91	57.08	81.25
10年目	H 15	1.01358	0.99621	1.02052	1.00085	1.3686	95.4	28.94	10.95	6.73	46.62	63.80	4.36	1.15	0.99	6.50	8.89	4.15	5.68	57.27	78.37
11年目	H 16	1.01358	0.99621	1.02052	1.00085	1.3159	94.4	29.34	10.58	6.86	46.78	61.55	4.42	1.11	1.01	6.54	8.60	4.16	5.47	57.47	75.62
12年目	H 17	1.01358	0.99621	1.02052	1.00085	1.2653	93.2	29.73	10.22	7.00	46.96	59.42	4.48	1.07	1.03	6.58	8.33	4.16	5.26	57.70	73.01
13年目	H 18	0.99410	0.99621	0.99503	0.99323	1.2167	92.5	29.91	10.53	7.41	47.85	58.22	4.83	1.21	1.22	7.25	8.82	4.39	5.34	59.50	72.38
14年目	H 19	0.99407	0.99005	0.99501	0.99318	1.1699	91.7	29.73	10.42	7.38	47.53	55.61	4.80	1.20	1.21	7.21	8.43	4.36	5.10	59.10	69.14
15年目	H 20	0.99403	0.98995	0.99498	0.99314	1.1249	91.2	29.56	10.32	7.34	47.21	53.11	4.77	1.18	1.21	7.16	8.05	4.33	4.87	58.70	66.03
16年目	H 21	0.99399	0.98985	0.99496	0.99309	1.0816	90.0	29.38	10.21	7.30	46.89	50.72	4.74	1.17	1.20	7.11	7.69	4.30	4.65	58.31	63.06
17年目	H 22	0.99396	0.98975	0.99493	0.99304	1.0400	90.0	36.92	12.17	9.05	58.14	60.47	6.03	1.33	1.42	8.78	9.13	5.41	5.62	72.33	75.22
18年目	H 23	0.99392	0.98964	0.99491	0.99299	1.0000	90.0	36.70	12.04	9.01	57.75	57.75	5.99	1.32	1.41	8.72	8.72	5.37	5.37	71.84	71.84
19年目	H 24	0.99388	0.98953	0.99488	0.99294	0.9615	90.0	36.47	11.92	8.96	57.35	55.14	5.96	1.30	1.40	8.67	8.33	5.33	5.13	71.35	68.60
20年目	H 25	0.99385	0.98942	0.99485	0.99289	0.9246	90.0	36.25	11.79	8.92	56.95	52.66	5.92	1.29	1.40	8.61	7.96	5.29	4.89	70.86	65.51
21年目	H 26	0.99381	0.98931	0.99483	0.99284	0.8890	90.0	36.02	11.66	8.87	56.56	50.28	5.88	1.28	1.39	8.55	7.60	5.25	4.67	70.36	62.55
22年目	H 27	0.99377	0.98919	0.99480	0.99279	0.8548	90.0	40.84	12.73	10.11	63.68	54.43	6.46	1.38	1.57	9.41	8.04	5.63	4.81	78.72	67.28
23年目	H 28.0	0.99373	0.98908	0.99477	0.99274	0.8219	90.0	40.58	12.59	10.06	63.23	51.97	6.42	1.36	1.56	9.35	7.68	5.59	4.60	78.17	64.25
24年目	H 29	0.99369	0.98896	0.99475	0.99269	0.7903	90.0	40.33	12.45	10.00	62.78	49.62	6.38	1.35	1.55	9.28	7.34	5.55	4.39	77.62	61.35
25年目	H 30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7599	90.0	40.07	12.32	9.95	62.34	47.37	6.34	1.33	1.54	9.22	7.01	5.51	4.19	77.06	58.57
26年目	H 31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7307	90.0	39.81	12.18	9.90	61.89	45.22	6.30	1.32	1.54	9.15	6.69	5.47	4.00	76.51	55.91
27年目	H 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.7026	90.0	39.56	12.04	9.84	61.44	43.17	6.26	1.30	1.53	9.09	6.39	5.43	3.81	75.96	53.37
28年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6756	90.0	39.37	11.91	9.83	61.11	41.28	6.23	1.29	1.53	9.04	6.11	5.40	3.65	75.55	51.04
29年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6496	90.0	39.17	11.79	9.82	60.78	39.48	6.20	1.27	1.52	9.00	5.85	5.36	3.48	75.14	48.81
30年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6246	90.0	38.98	11.66	9.80	60.44	37.75	6.17	1.26	1.52	8.95	5.59	5.33	3.33	74.73	46.67
31年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.6006	90.0	38.79	11.53	9.79	60.11	36.10	6.14	1.25	1.52	8.91	5.35	5.30	3.18	74.32	44.63
32年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5775	90.0	38.60	11.41	9.77	59.78	34.52	6.11	1.23	1.52	8.86	5.12	5.27	3.04	73.91	42.68
33年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5553	90.0	38.41	11.28	9.76	59.45	33.01	6.08	1.22	1.51	8.81	4.89	5.24	2.91	73.50	40.81
34年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5339	90.0	38.21	11.16	9.75	59.11	31.56	6.05	1.21	1.51	8.77	4.68	5.21	2.78	73.09	39.02
35年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.5134	90.0	38.02	11.03	9.73	58.78	30.18	6.02	1.19	1.51	8.72	4.48	5.17	2.66	72.68	37.32
36年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4936	90.0	37.83	10.90	9.72	58.45	28.85	5.99	1.18	1.51	8.67	4.28	5.14	2.54	72.27	35.67
37年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4746	90.0	45.89	12.92	12.38	71.19	33.79	6.05	1.09	1.63	8.76	4.16	5.55	2.63	85.50	40.58
38年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4564	90.0	45.45	12.84	12.40	70.69	32.26	5.99	1.08	1.63	8.70	3.97	5.50	2.51	84.89	38.74
39年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4388	90.0	45.01	12.75	12.42	70.18	30.80	5.93	1.08	1.63	8.64	3.79	5.46	2.40	84.28	36.99
40年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4220	90.0	44.57	12.66	12.45	69.68	29.40	5.87	1.07	1.63	8.58	3.62	5.41	2.28	83.67	35.30
41年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4057	90.0	44.14	12.57	12.47	69.17	28.06	5.82	1.06	1.64	8.51	3.45	5.37	2.18	83.06	33.69
42年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3901	90.0	43.70	12.49	12.49	68.67	26.79	5.76	1.05	1.64	8.45	3.30	5.33	2.08	82.45	32.17
43年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3751	90.0	43.26	12.40	12.51	68.16	25.57	5.70	1.05	1.64	8.39	3.15	5.28	1.98	81.84	30.70
44年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3607	90.0	42.82	12.31	12.53	67.66	24.40	5.64	1.04	1.65	8.33	3.00	5.24	1.89	81.22	29.29
45年目	H 50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3468	90.0	42.38	12.22	12.55	67.16	23.29	5.58	1.03	1.65	8.26	2.87	5.19	1.80	80.61	27.96
46年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3335	90.0	41.94	12.14	12.57	66.65	22.23	5.53	1.02	1.65	8.20	2.74	5.15	1.72	80.00	26.69
47年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3207	90.0	41.50	12.05	12.60	66.15	21.21	5.47	1.02	1.65	8.14	2.61	5.11	1.64	79.39	25.46
48年目	H 53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.3083	90.0	41.06	11.96	12.62	65.64	20.24	5.41	1.01	1.66	8.08	2.49	5.06	1.56	78.78	24.29
49年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2965	90.0	40.63	11.87	12.64	65.14	19.31	5.35	1.00	1.66	8.01	2.38	5.02	1.49	78.17	23.18
合 計								1,693.47	545.28	444.90	2,683.66	2,062.17	256.80	56.77	65.63	379.20	303.61	232.80	186.55	3,295.66	2,552.33

便益の現在価値算定表【残事業】

箇所名：宇和島道路

年次	年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故損出費用(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 27	0.99377	0.98919	0.99480	0.99279	0.8548	90.0	5.04	1.19	1.28	7.52	6.43	0.62	0.11	0.19	0.92	0.78	0.42	0.36	8.85	7.57
1年目	H 28	0.99373	0.98908	0.99477	0.99274	0.8219	90.0	5.01	1.18	1.28	7.47	6.14	0.61	0.11	0.18	0.91	0.75	0.41	0.34	8.79	7.23
2年目	H 29	0.99369	0.98896	0.99475	0.99269	0.7903	90.0	4.98	1.17	1.27	7.42	5.86	0.61	0.11	0.18	0.90	0.71	0.41	0.32	8.73	6.89
3年目	H 30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7599	90.0	4.95	1.16	1.26	7.37	5.60	0.60	0.11	0.18	0.90	0.68	0.41	0.31	8.67	6.59
4年目	H 31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7307	90.0	4.91	1.14	1.26	7.31	5.34	0.60	0.11	0.18	0.89	0.65	0.40	0.30	8.61	6.29
5年目	H 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.7026	90.0	4.88	1.13	1.25	7.26	5.10	0.60	0.11	0.18	0.89	0.62	0.40	0.28	8.55	6.00
6年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6756	90.0	4.86	1.12	1.25	7.23	4.88	0.59	0.11	0.18	0.88	0.60	0.40	0.27	8.50	5.75
7年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6496	90.0	4.83	1.11	1.25	7.19	4.67	0.59	0.11	0.18	0.88	0.57	0.40	0.26	8.46	5.50
8年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6246	90.0	4.81	1.09	1.25	7.15	4.47	0.59	0.10	0.18	0.87	0.55	0.39	0.25	8.42	5.27
9年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.6006	90.0	4.79	1.08	1.24	7.11	4.27	0.59	0.10	0.18	0.87	0.52	0.39	0.24	8.37	5.03
10年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5775	90.0	4.76	1.07	1.24	7.08	4.09	0.58	0.10	0.18	0.86	0.50	0.39	0.22	8.33	4.81
11年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5553	90.0	4.74	1.06	1.24	7.04	3.91	0.58	0.10	0.18	0.86	0.48	0.39	0.21	8.28	4.60
12年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5339	90.0	4.72	1.05	1.24	7.00	3.74	0.58	0.10	0.18	0.86	0.46	0.38	0.21	8.24	4.41
13年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.5134	90.0	4.69	1.03	1.24	6.96	3.58	0.57	0.10	0.18	0.85	0.44	0.38	0.20	8.20	4.22
14年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4936	90.0	4.67	1.02	1.23	6.93	3.42	0.57	0.10	0.18	0.85	0.42	0.38	0.19	8.15	4.03
15年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4746	90.0	12.90	3.16	3.91	19.97	9.48	0.66	0.02	0.30	0.98	0.46	0.81	0.39	21.75	10.33
16年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4564	90.0	12.78	3.14	3.92	19.83	9.05	0.65	0.02	0.30	0.97	0.44	0.81	0.37	21.60	9.86
17年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4388	90.0	12.65	3.11	3.92	19.69	8.64	0.64	0.02	0.30	0.97	0.42	0.80	0.35	21.45	9.41
18年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4220	90.0	12.53	3.09	3.93	19.55	8.25	0.64	0.02	0.30	0.96	0.40	0.79	0.33	21.30	8.98
19年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4057	90.0	12.41	3.07	3.94	19.41	7.88	0.63	0.02	0.30	0.95	0.39	0.79	0.32	21.15	8.59
20年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3901	90.0	12.28	3.05	3.94	19.28	7.52	0.63	0.02	0.30	0.95	0.37	0.78	0.30	21.00	8.19
21年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3751	90.0	12.16	3.03	3.95	19.14	7.18	0.62	0.02	0.30	0.94	0.35	0.77	0.29	20.85	7.82
22年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3607	90.0	12.04	3.01	3.96	19.00	6.85	0.61	0.02	0.30	0.94	0.34	0.77	0.28	20.70	7.47
23年目	H 50.0	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3468	90.0	11.91	2.99	3.96	18.86	6.54	0.61	0.02	0.30	0.93	0.32	0.76	0.26	20.55	7.12
24年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3335	90.0	11.79	2.96	3.97	18.72	6.24	0.60	0.02	0.30	0.92	0.31	0.75	0.25	20.40	6.80
25年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3207	90.0	11.67	2.94	3.98	18.59	5.96	0.59	0.02	0.30	0.92	0.29	0.75	0.24	20.25	6.49
26年目	H 53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.3083	90.0	11.54	2.92	3.98	18.45	5.69	0.59	0.02	0.30	0.91	0.28	0.74	0.23	20.10	6.20
27年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2965	90.0	11.42	2.90	3.99	18.31	5.43	0.58	0.02	0.30	0.91	0.27	0.74	0.22	19.95	5.92
28年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2851	90.0	11.30	2.88	4.00	18.17	5.18	0.58	0.02	0.30	0.90	0.26	0.73	0.21	19.80	5.65
29年目	H 56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2741	90.0	11.17	2.86	4.01	18.03	4.94	0.57	0.02	0.31	0.89	0.25	0.72	0.20	19.65	5.39
30年目	H 57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2636	90.0	11.05	2.84	4.01	17.90	4.72	0.56	0.02	0.31	0.89	0.23	0.72	0.19	19.50	5.14
31年目	H 58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2534	90.0	10.93	2.81	4.02	17.76	4.50	0.56	0.02	0.31	0.88	0.22	0.71	0.18	19.35	4.90
32年目	H 59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2437	90.0	10.80	2.79	4.03	17.62	4.29	0.55	0.02	0.31	0.88	0.21	0.70	0.17	19.20	4.67
33年目	H 60	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.2343	90.0	10.68	2.77	4.03	17.48	4.10	0.54	0.02	0.31	0.87	0.20	0.70	0.16	19.05	4.46
34年目	H 61	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.2253	90.0	10.56	2.75	4.04	17.34	3.91	0.54	0.02	0.31	0.86	0.19	0.69	0.16	18.90	4.26
35年目	H 62	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.2166	90.0	10.43	2.73	4.05	17.21	3.73	0.53	0.02	0.31	0.86	0.19	0.68	0.15	18.75	4.07
36年目	H 63	0.98843	0.99274	1.00170	0.99138	0.2083	90.0	10.32	2.71	4.05	17.08	3.56	0.53	0.02	0.31	0.85	0.18	0.68	0.14	18.61	3.88
37年目	H 64	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2003	90.0	10.21	2.69	4.06	16.96	3.40	0.52	0.02	0.31	0.85	0.17	0.67	0.13	18.48	3.70
38年目	H 65	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.1926	90.0	10.10	2.67	4.07	16.84	3.24	0.51	0.02	0.31	0.84	0.16	0.67	0.13	18.35	3.53
39年目	H 66	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.1852	90.0	9.99	2.65	4.07	16.71	3.10	0.51	0.02	0.31	0.84	0.16	0.66	0.12	18.21	3.38
40年目	H 67	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.1780	90.0	9.88	2.63	4.08	16.59	2.95	0.50	0.02	0.31	0.83	0.15	0.65	0.12	18.08	3.22
41年目	H 68	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.1712	90.0	9.77	2.61	4.09	16.47	2.82	0.50	0.02	0.31	0.83	0.14	0.65	0.11	17.94	3.07
42年目	H 69	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.1646	90.0	9.66	2.59	4.09	16.34	2.69	0.49	0.02	0.31	0.82	0.14	0.64	0.11	17.81	2.94
43年目	H 70	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.1583	90.0	9.55	2.57	4.10	16.22	2.57	0.49	0.02	0.31	0.82	0.13	0.64	0.10	17.67	2.80
44年目	H 71	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.1522	90.0	9.44	2.55	4.11	16.10	2.45	0.48	0.02	0.31	0.81	0.12	0.63	0.10	17.54	2.67
45年目	H 72	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.1463	90.0	9.33	2.53	4.11	15.97	2.34	0.48	0.02	0.31	0.81	0.12	0.62	0.09	17.41	2.55
46年目	H 73	0.98818	0.99217	1.00167	0.99056	0.1407	90.0	9.22	2.51	4.12	15.85	2.23	0.47	0.02	0.31	0.80	0.11	0.62	0.09	17.27	2.43
47年目	H 74	0.98803	0.99211	1.00167	0.99047	0.1353	90.0	9.11	2.49	4.13	15.73	2.13	0.46	0.02	0.31	0.80	0.11	0.61	0.08	17.14	2.32
48年目	H 75	0.98789	0.99204	1.00167	0.99038	0.1301	90.0	9.00	2.47	4.14	15.60	2.03	0.46	0.02	0.32	0.79	0.10	0.61	0.08	17.00	2.21
49年目	H 76	0.98774	0.99198	1.00167	0.99029	0.1251	90.0	8.89	2.45	4.14	15.48	1.94	0.45	0.02	0.32	0.79	0.10	0.60	0.08	16.87	2.12
合 計								452.07	114.52	159.69	726.29	239.03	28.21	2.27	13.45	43.93	17.01	30.61	10.69	800.83	266.73

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	宇和島道路	4、2	17.5km

■事業費内訳（全体事業費）

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					128,430	
	改良費				19,573	
		土工	m ³	5,711,870	9,312	切土(2,488,735m3), 盛土(961,730m3), 捨土(2,261,405m3)
		法面工	m ²	205,472	4,077	切土法面、法枠工、盛土法面
		擁壁工	式	1	2,564	逆T式擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	1,174	209	
		函渠工	m	1,289	1,219	
		排水工	m	10,086	731	
		中央分離帯工	m	6,186	508	中央分離帯、植樹帯
		雑工	式	1	953	機能補償道路(3,690m)・水路(2,460m)等
	橋梁費				53,461	
		100m以上	m	1,832	23,020	13橋(PC4橋、鋼9橋)
		100m未満	m	3,701	30,441	60橋(PC43橋、鋼17橋)
	トンネル費				45,138	
		NATM	m	14,655	45,138	20本
		シールド	m			
	IC・JCT費				3,056	
		IC	箇所	6	3,056	ダイヤモンド型(6箇所)
	舗装費				1,654	
		車道舗装	m ²	120,377	1,654	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				5,548	
		交通管理施設工	式	1	5,548	標識工、防護柵工、道路照明等
②用地及補償費				38,975		
	用地費		m ²	1,476,200	23,606	
		宅地	m ²	497,500	20,995	
		田畑	m ²	388,200	2,174	
		山林・原野	m ²	590,500	437	
		その他	m ²			
	補償費	式	1	15,369		
③間接経費		式	1	14,795	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費				182,200		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	宇和島道路	4、2	17.5km

■事業費内訳（残事業費）

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					45,680	
	改良費				14,200	
		土工	m ³	601,976	981	切土(320,888m ³), 盛土(130,760m ³), 捨土(150,328m ³)
		法面工	m ²	26,328	93	切土法面、法枠工、盛土法面
		擁壁工	式	1	450	逆T式擁壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	2	0	
		函渠工	m	332	314	
		排水工	m	3,343	12,168	
		中央分離帯工	m	3,967	194	中央分離帯、植樹帯
	橋梁費				729	
		100m以上	m	628	310	6橋(PC2橋、鋼4橋)
		100m未満	m	1,964	419	26橋(PC17橋、鋼9橋)
	トンネル費				28,600	
		NATM	m	8,491	28,600	11本
		シールド	m			
	IC・JCT費				730	
		IC	箇所	6	730	ダイヤモンド型(6箇所)
	舗装費				347	
		車道舗装	m ²	25,252	347	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				1,074	
		交通管理施設工	式	1	1,074	標識工、防護柵工、道路照明等
②用地及補償費					7	
	用地費		m ²	851	6	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	851	6	
		その他	m ²			
	補償費		式	1	1	
③間接経費			式	1	3,225	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
残事業費					48,912	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	宇和島道路	4、2	17.5km

■維持管理費内訳（全体事業費）

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	17.5	1,966	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,580	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			7,546	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	宇和島道路	4、2	17.5km

■維持管理費内訳（残事業費）

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	17.5	1,619	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,683	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			6,302	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。